

IV 委員会活動報告

1. 管理部門

A：大学管理・運営

(1) 全学協議会（構成員／教員15名、事務局3名、計18名）

学長、副学長、各研究科長・学部長・学科長、事務局長、総務課長、入試・広報室長を構成委員とする全学協議会は、最高意志決定権者である学長の下に置かれ、全学的・学部横断的な課題や事項に関する審議・了承と、報告事項の適切かつ適確な確認・周知による各種情報の全学的共有化と、本学における教学マネジメントの統括を主要な任務としている。

2021年度もまた、上記の趣旨を踏まえ、事前に開催された学長、副学長、研究科長、各学部長、事務局長、総務課長を構成員とする全学運営会議において確認、整理された協議事項について慎重に審議・決定し、加えて、報告事項についても確認の上全学的に周知するなど、主要な任務を遅滞なく遂行すべく努めた。また、教学マネジメントに関しては、通常、全学運営会議の前に開催される内部質保証室関連会議（自己点検・評価委員会、FD・SD委員会、IR委員会）で審議・決定された事項及び報告事項などについて、あらかじめ報告・確認の上、全学的に周知を図るべく努めた。また、各種アンケートの実施状況と分析結果を管理・総括し、授業改善並びに教学改革に結び付けるべく、全学教務委員会などと連携して取り組んだ。

以下、「1)協議会開催」として、年間を通じた各回の会議において審議・了承された事項および主たる報告事項を、さらに「2)事業・活動」として、①全学的組織の改廃及び学部横断の人事に関する審議と決定、②学則及び各種規程の審議・了承、③教学マネジメントに関する事項の検討・決定、④その他、の4点にまとめ今年度の活動状況を概述する。

1) 協議会開催

第1回 4月28日(水)17:25～18:45 欠席者なし

[審議事項]

- ①「松本大学人権委員会規程」の改正について(等々力副学長)審議・了承
- ②2021年度ハラスメント相談員の委嘱について(菅谷学長)審議・了承
- ③2021年度松本大学委員会構成の一部修正について(等々力副学長)審議・一部保留の上了承
- ④メソフィア教員ポータルサイトの学生情報の閲覧者並びに閲覧許可申請書について(浜崎副学長)審議・了承
- ⑤2020年度事業報告の取扱いについて(等々力副学長)審議・了承
- ⑥強化部・重点部の指定継続について(増尾全学学生委員会担当)審議・了承
- ⑦自治体・企業・大学などとの連携事業の担当部署について(白戸地域連携委員長)審議・再提案
- ⑧辰野高校との連携協定について(山添高大連携推進委員長)審議・再提案

[報告事項]

- ①入試問題検討会メンバーについて(山田全学入試・広報委員長)
- ②「松本大学共同研究規程」「松本大学受託事業取扱規程」「松本大学受託研究取扱規程」の改正について(増尾研究推進委員長)
- ③2021年度の外部評価委員について(赤羽総務課長)
- ④科研費採択状況並びに2022年度の公募及び内定時期の前倒しについて(増尾研究推進委員長)
- ⑤『自己点検・評価報告書』『アニュアル・レポート』の出稿状況について(等々力自己点検・評価委員長)
- ⑥減災キャンペーン(NBS)への名義後援について(増尾副学長)
- ⑦アルピコ交通(株)の上高地線増発バス運行(松本駅～松本大学)について(赤羽総務課長)

⑧2020年度卒業生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)

⑨令和4年度開設予定大学院等認可申請について(赤羽事務局長)

他5件

第2回 5月26日(水)17:00~18:00 欠席者 なし

[審議事項]

- ①「松本大学動物実験規程」「松本大学遺伝子組換え実験安全管理規程」「松本大学強化部内規」の改正について(等々力副学長、赤羽事務局長)審議・了承
- ②自治体・企業などとの連携事業の担当部署について(根本地域連携部門担当、白戸地域連携委員長)審議・了承
- ③辰野高校との連携協定について(山添高大連携推進委員長、中島節子学科長)継続審議
- ④2021年度第1回全学協議会議事録の一部加筆について(浜崎副学長)審議・了承

[報告事項]

- ①認証評価受審に向けた準備について(受審準備WG責任者 等々力副学長、浜崎副学長、赤羽事務局長)
- ②バイオセーフティに関する規程整備について(増尾研究推進委員長)
- ③ハラスメント防止に関する規程・ガイドライン等の扱いについて(等々力副学長、赤羽事務局長)
- ④6月30日(水)のSD研修会について(等々力FD・SD委員長)
等々力FD・SD委員長より、年間行事として予定されている6月第5水曜日
- ⑤高校教員向け学生募集説明会の実施について(山田全学入試・広報委員長)
- ⑥松商学園総合グラウンドの人工芝の張り替えについて(赤羽事務局長)
- ⑦各種資格取得の合格率について(浜崎全学教務委員会担当)

他7件

第3回 6月23日(水)17:00~18:50 欠席者 なし

[審議事項]

- ①バイオセーフティに関する規程整備について(増尾研究推進委員長)審議・一部保留の上了承
- ②松本大学大学院研究生規程の改正について(山田健康科学研究科長)
- ③ハラスメント防止に関する規程並びにガイドラインの改正等について(等々力副学長、赤羽事務局長)審議・了承
- ④「2021年度松本大学委員会構成」の一部修正について(等々力副学長)審議・了承
- ⑤安曇野市との包括連携協定締結について(増尾総合経営学部長)審議・了承
- ⑥防災士養成講座の開講8/28(土)・29(日)について(増尾担当)審議・条件付き了承
- ⑦女子学生盗撮被害への対応について(増尾全学学生委員会担当)審議・了承

[報告事項]

- ①教育学部の採用人事について(岸田教育学部長)
- ②ワクチン接種に関する職域接種の意向調査への対応について(新型コロナウイルス感染症対策本部菅谷本部長、等々力副本部長)
- ③松商学園高校からの進学者データの分析結果および今年度入試の動向について(山田全学入試・広報委員長)
- ④6月30日(水)のFD・SD研修会について(等々力FD・SD委員長)
- ⑤前期中間(短大部1学期中間・期末)授業アンケートの回答状況について(等々力FD・SD委員長)
- ⑤公務員試験対策講座受講者の状況について(浜崎公務員試験対策講座運営委員会担当)

他5件

第4回 7月28日(水)17:00~18:30 欠席者 なし

[審議事項]

- ①松本大学・松本大学松商短期大学部ガバナンス・コード(案)について(赤羽事務局長)審議・了承
- ②障がいをもつ学生の支援体制の構築について(等々力副学長)審議・了承
- ③学部・学科横断型教育(学修)プログラムの設置について(等々力副学長)審議・了承
- ④就職支援のためのSPI対策講座について(岸田全学就職委員会担当)審議・了承
- ⑤強化部・重点部の「特待生」枠について(増尾全学学生委員会担当)審議・再提案

⑥長野県中小企業団体中央会主催合同企業説明会の開催(9月中旬頃予定)について(岸田全学就職委員会担当)

⑦あずみ養護学校の修学旅行企画への参画(7/30(金))について(根本学部長)審議・条件付き了承

⑧日本栄養士会・長野県栄養士会主催「災害対応研修会」への教室貸出について(赤羽総務課長)審議・了承

[報告事項]

①平和関連の学びと行事について(菅谷学長)

②盗撮事件のその後について(増尾全学学生委員会担当)

③令和3年度科研費(挑戦的研究(開拓))交付内定について(増尾研究推進委員長)

④第1回SD研修会の実施結果について(等々力FD・SD委員長)

⑤2021年度卒業予定生の就職内定状況について(岸田全学就職委員会担当)

⑥バイオセーフティに関する規程整備について(増尾研究推進委員長)

⑦3号館カフェテリア厨房の改修工事について(赤羽事務局長)

他2件

第5回 9月22日(水)13:50~15:15 欠席者 山添

[審議事項]

①信州プレイブウォリアーズと連携した地域食育・体育活動の取組みについて(白戸地域連携委員長)審議・了承

②強化部・重点部の補充予定候補者について(山田全学入試・広報委員長)審議・了承

③新型コロナウイルス感染症の影響による追試験対象条件について(山田全学入試・広報委員長)審議・了承

④総合型選抜(指定競技)のコロナ対策による日程追加について(山田全学入試・広報委員長)審議・了承

⑤2021年度前期の成績評価結果について(浜崎全学教務委員会担当)審議・了承

⑥就職支援のための「SPI対策講座」の設置について(岸田全学就職委員会担当)審議・了承

⑦日本臨床心理身体運動学会第23回大会(松本大会会場)の名義後援について(根本学部長)審議・了承

[報告事項]

①人事評価制度の導入について(菅谷学長)

②総合経営研究科の申請認可について(増尾設置準備室長)

③2021年度第1回理事・大学連絡協議会(9/21)について(菅谷学長、赤羽事務局長)

④2021年度外部評価委員会開催結果について(菅谷学長、浜崎副学長)

⑤松商学園高校の指定校推薦受験生について(山田全学入試・広報委員長)

⑥2022年度入試日程について(山田全学入試・広報委員長)

⑦内部質保証室関係

a)FD・SD委員会(等々力委員長)

・「2021年度学修行動調査」の質問項目の加筆・修正について

・第2回SD研修会の開催について

b)IR委員会(等々力委員長、赤羽事務局長)

・2020年度学修行動調査の集計結果並びに分析結果について

・「東京工業大学IR論」(オンライン講義)の受講並びに受講者について

・新規IRのテーマ・内容と担当者について

・データ分析に関する研究倫理委員会からの依頼事項について

⑧松本大学新型コロナワクチン大学拠点接種の進捗状況について(菅谷新型コロナウイルス感染症対策本部長)

他3件

第6回 10月27日(水)17:30~19:00 欠席者 なし

[審議事項]

①障がいをもつ学生に対する支援体制の構築について(等々力検討会議(WG)議長)審議・了承

- ②教務関係規程の改正について(浜崎全学教務委員会担当) 審議・了承
- ③「TA・SAハンドブック」について(赤羽事務局長) 審議・了承
- ④松本商工会議所との連携協定締結について(増尾副学長) 審議・了承
- ⑤3人制プロバスケットボールチーム・松本ダイナブラックスとの連携協定締結並びにアカデミックサポート契約締結について(根本学部長) 審議・了承
- ⑥大学施設の貸出について(赤羽総務課長) 審議・了承
- ⑦2022年度開学記念パーティーの実施について(赤羽総務課長) 審議・了承

[報告事項]

- ①総合経営学部並びに短期大学の次期学部長・学科長の選考について(赤羽事務局長)
- ②私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」の申請・承認について(増尾研究推進委員長)
- ③研究関係予算申請スケジュールについて(増尾研究推進委員長)
- ④全学学生委員会関係(増尾全学学生委員会担当)
 - a)新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる課外活動の停止と解除(10/8)について
 - b)新型コロナ対策学生向け緊急食料配布(10/12・13)について
- ⑤松本大学新型コロナワクチン大学拠点接種実施結果および教職員・学生のワクチン接種状況について(菅谷新型コロナウイルス感染症対策本部長)
- ⑥内部質保証室関係
 - a)IR委員会の実質化及びIR活動の組織化について(等々力IR委員長)
 - b)FD・SD委員会(等々力FD・SD委員長)
 - ・2021年度前期(含・過去4年間分)授業アンケートおよび2021年度学修行動調査の回答率集計について
 - ・2021年度第2回SD研修会の参加状況並びに意見・感想について
- ⑦2022年度教員採用試験受験結果について(岸田全学教職センター運営委員会担当) 他3件

第7回 11月24日(水)17:00~19:15 欠席者なし

[審議事項]

- ①地域防災科学研究所について(菅谷学長、増尾担当) 審議・了承
- ②学部・学科横断型教育(学修)プログラムについて(等々力副学長) 審議・了承
- ③2022年度年間行事予定(一斉休校期間・全館停電計画)について(赤羽総務課長) 審議・了承
- ④大学施設の貸出について(赤羽総務課長) 審議・了承

[報告事項]

- ①総合経営学部並びに短期大学の次期学部長・学科長の選考について(赤羽事務局長)
- ②2021年度卒業予定生の就職状況について(岸田全学就職委員会担当)
- ③公務員試験対策講座受講生の受験結果(11/15現在)について(浜崎公務員試験対策講座運営委員会担当)
- ④FD・SD委員会関係(等々力委員長)
 - a)FD・SD研修会の開催案について
 - b)前期(短大部1・2学期)授業の改善計画(ポートフォリオ)の入力状況と後期中間(短大部3学期)授業アンケートの回答状況について
- ⑤新型コロナワクチン大学拠点接種(1・2回目)について(等々力対策副本部長)
- ⑥人事評価制度導入に関する意識調査およびヒアリングの実施について(等々力副学長) 他4件

第8回 12月24日(金)17:00~18:45 欠席者なし

[審議事項]

- ①教職センターの人事について(岸田全学教職センター運営委員会担当) 審議・了承
- ②70歳を超えた非常勤講師の採用について(浜崎全学教務委員会担当) 審議・了承
- ③地域づくり考房『ゆめ』専門員の雇用延長について(根本地域連携部門担当) 審議・了承
- ④学則および規程の変更・改正について(赤羽事務局長) 審議・了承
- ⑤長期留学を希望する学生について(浜崎国際交流センター運営委員会担当) 審議・了承

⑥2022年度の公務員試験対策講座について(浜崎公務員試験対策講座運営委員会担当) 審議・了承
[報告事項]

- ①総合経営学部並びに短期大学の次期学部長・学科長の選考について(赤羽事務局長)
- ②総合型選抜・推薦前期・後期選抜・編転入・大学院の入試実施結果について(山田全学入試・広報委員長)
- ③地方大学間の学生交流について(菅谷学長)
- ④XYZ株式会社との連携協定調印式について(菅谷学長、根本地域連携部門担当)
- ⑤令和3年度「全国学生調査(第2回試行)」に関する意向等確認調査について(赤羽事務局長)
- ⑥2022年度教員採用試験受験結果(教育学部、修正版)について(岸田全学教職センター運営委員会担当)
- ⑦2021年度卒業予定生の就職状況について(岸田全学就職委員会担当)
- ⑧人事評価制度導入に伴う意識調査結果報告について(等々力副学長)

第9回 1月26日(水)17:00~18:45 欠席者 なし

[審議事項]

- ①「松本大学サイバーセキュリティ対策基本計画(案)」について(浜崎情報センター運営委員会担当) 審議・了承
- ②各種内規の改正並びに制定について(赤羽事務局長、山田健康科学研究科長、増尾全学学生委員会担当) 審議・了承
- ③2021年度教員評価の実施について(等々力副学長) 審議・了承
- ④2022年度委員会委員の選出について(等々力副学長) 審議・了承
- ⑤総合型選抜(指定競技Ⅱ期)での獲得予定強化選手について(山田全学入試・広報委員長、坂内入試・広報室長) 審議・了承
- ⑥「まん延防止等重点措置」要請・適用に伴う一般選抜A入試の実施および出願状況について(山田全学入試・広報委員長、坂内入試広報室長) 審議・了承
- ⑦制作物等における学部・学科表記のルールについて(山田全学入試・広報委員長) 審議・了承
- ⑧地域健康支援ステーション専門員の採用人事について(中島地域健康支援ステーション運営委員長) 審議・了承
- ⑨各種資格取得試験の実施について(浜崎全学教務委員会担当) 審議・了承

[報告事項]

- ①今後の入試および判定会議の日程について(山田全学入試・広報委員長)
- ②「2022年度事業計画」の作成について(赤羽事務局長)
- ③2022年度教育企画推進経費の追加について(等々力FD・SD委員長)
- ④「2021年度進路先アンケート」について(等々力FD・SD委員長)
- ⑤第1回FD研修会(12/20~1/7)の視聴結果について(等々力FD・SD委員長)

他3件

第10回 2月22日(火)10:00~11:05 欠席者 山添

[審議事項]

- ①2022年度特任教授並びに客員教授の委嘱について(赤羽事務局長) 審議・了承
- ②地域健康支援ステーション専門員の人事について(中島地域健康支援ステーション運営委員長) 審議・了承
- ③2021年度学位授与式(3月11日(金))について(赤羽総務課長、菅谷新型コロナウイルス感染症対策本部長) 審議・了承
- ④2022年度入学式(4月4日(月))について(赤羽総務課長) 審議・了承
- ⑤「2022年度 事業計画(案)」および今後の扱いについて(赤羽事務局長、等々力副学長) 審議・了承
- ⑥2022年度委員会構成案について(等々力副学長) 審議・了承
- ⑦強化部・重点部の練習再開について(増尾全学学生委員会担当、菅谷対策本部長) 審議・了承
- ⑧松本大学緊急対応時の広報マニュアルについて(赤羽事務局長) 審議・了承

[報告事項]

- ①一般選抜Aの入学手続き状況について(山田全学入試・広報委員長)
- ②男子サッカー部獲得希望選手の総合型選抜での再受験について(山田全学入試・広報委員長)
- ③2021年度学修行動調査結果および第4回FD・SD研修会について(等々力FD・SD委員長)
- ④認証評価受審準備について(等々力自己点検・評価委員長)
- ⑤人事評価制度導入に伴う「基本方針」策定のための打合せについて(等々力担当)
- ⑥2021年度卒業生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)

第11回 3月23日(水)15:00~16:00 欠席者 なし

[審議事項]

- ①2022年度第1回合同教授会議題案について(等々力副学長)審議・了承
- ②2022年度委員会構成案について(等々力副学長)審議・了承
- ③2022年度年間予定表案について(赤羽総務課長)審議・了承
- ④女子ソフトボール部コーチ人事について(増尾全学学生委員会担当)審議・了承
- ⑤松本大学強化部・重点部内規の改正について(増尾全学学生委員会担当)審議・了承
- ⑥2022年度ハラスメント相談員案について(赤羽人権委員会担当)審議・了承
- ⑦2022年度コンソーシアム信州担当者について(増尾副学長)審議・了承
- ⑧学内における兼担・兼任について(浜崎全学教務委員会担当)審議・了承
- ⑨エア・ウォーター東日本株式会社への松本大学の名義貸しおよびロゴマークの使用について(根本人間健康学部長)審議・了承
- ⑩地域健康支援ステーション・体力測定車のデザイン変更について(中島地域健康支援ステーション運営委員長)審議・了承
- ⑪「【改訂版】松本大学活動制限指針」運用の周知について(等々力新型コロナウイルス感染症対策本部副本部長)審議・了承

[報告事項]

- ①入学手続き状況(含・一般選抜C)について(山田全学入試・広報委員長)
- ②2022年度科学研究費助成事業の審査結果並びに研究助成費について(増尾研究推進委員長)
- ③各種報告書の執筆について(等々力自己点検・評価委員長)
- ④2021年度第1回FD・SD研修会(通算4回目)について(等々力FD・SD委員長)
- ⑤授業アンケートの実施状況と来年度以降の実施方法について(等々力FD・SD委員長)
- ⑥人事評価制度導入に伴う「基本方針」策定のための打合せについて(等々力担当)
- ⑦2021年度卒業生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)

2) 事業・活動

- ①全学的組織の改廃および学部横断的人事に関する審議と決定
 - ・松本大学障がい学生支援会議の設置
 - ・学部・学科横断型教育(学修)検討会議(WG)の設置
 - ・研究倫理委員会の下へのバイオセーフティ部会の設置
 - ・自治体・企業などとの連携事業の担当部署について決定
 - ・松本大学地域防災科学研究所専任教員の採用
 - ・2022年度特任教授並びに客員教授の委嘱
 - ・2021年度ハラスメント相談員の選任・委嘱
 - ・全学教職センター専門員の採用
 - ・地域健康支援ステーション専門員の採用
 - ・2021年度外部評価委員の選任
- ②学則および各種規程の審議・了承
 - ・松本大学学則の一部変更

- ・松本大学松商短期大学部学則の一部変更
- ・松本大学教授会規程の改正
- ・松本大学松商短期大学部教授会規程の改正
- ・松本大学人権委員会規程の改正
- ・松本大学協同研究規程の改正
- ・松本大学受託研究規程の改正
- ・松本大学受託研究取扱規程の改正
- ・松本大学動物実験規程の改正
- ・松本大学遺伝子組換え実験安全管理規程の改正
- ・松本大学大学院研究生規程の改正
- ・ハラスメント防止に関する規程の改正
- ・松本大学・松本大学松商短期大学部ガバナンスコードの制定
- ・松本大学出版会規程の改正
- ・松本大学履修規程の改正
- ・松本大学松商短期大学部履修規程の改正
- ・松本大学教育サポーター規程の改正
- ・地域防災科学研究所規程の制定
- ・地域防災科学研究所運営委員会規程の制定

③教学マネジメントに関する事項

- ・学内における兼担・兼任の見直し
- ・メソフィア教員ポータルサイトの学生情報の閲覧者並びに閲覧許可申請書の決定
- ・松商学園高校からの進学者データの分析
- ・2021年度前期の成績評価結果を踏まえた評価基準の妥当性、授業内容の難易度の妥当性に関する点検依頼
- ・試験結果を踏まえた授業アンケートの実施状況と結果の確認
- ・卒業予定者アンケートの実施および結果分析と公表
- ・就職先企業に対するアンケートの実施並びに結果分析と公表
- ・大学及び短期大学部の学習行動調査の実施並びに結果分析と公表

④その他

- ・各種選抜入試に関する諸事項の検討・決定並びに実施状況の把握
- ・松本大学サイバーセキュリティ対策基本計画の策定
- ・松本大学・松本大学松商短期大学部アカデミック・ハラスメントおよびパワー・ハラスメント防止等に関するガイドラインの修正
- ・大学院総合経営研究科の設置準備
- ・人事評価制度導入への対応
- ・2020年度事業報告並びに2022年度事業計画の策定
- ・松本大学新型コロナウイルスワクチン大学拠点接種の計画・実施
- ・新型コロナウイルス感染症への対応の検討・決定
- ・各種申請等の調整
- ・自治体並びに企業等との連携協定の審議・承認と締結の支援
- ・本学における学会等の開催確認と支援(施設貸し出し)
- ・3号館カフェテリア厨房及び渡り廊下等の改修工事の周知

(2) 全学運営会議 (構成員／教員8名、事務局2名 計10名)

学長、副学長、各研究科長・学部長、事務局長、総務課長を構成員とする全学運営会議は、日常的な大

学運営を司るために基本的には隔週で会議を開催し、全学的・学部横断的な課題や事項および報告などについて協議、整理して、月に1回開催される全学協議会に上程・報告し、その円滑な運営に資することを主要な任務としている。したがって、本会議で取り扱った協議事項並びに報告事項は、ほぼ全てが全学協議会におけるものと重なっていることから、ここでは省略することとする。

当会議の議長は副学長が務め、各構成員は対象となる委員会の業務内容などを考慮して複数の委員会を大括りにした部門、委員会を担当し、それと全学運営会議との連絡・連携を図るとともに、必要に応じて担当する部門、委員会における課題や問題などを全学運営会議に反映させることとしている。そうした使命を遂行するために、2021年度は、通常は火曜日5限に、長期休み中は会議の開始時刻を柔軟に設定し、計23回の会議を持った。

当会議は各種規程の整備を主管しており、各委員会などで検討・承認されたものについても、全学的なあるいは法人理事会などとの関係といった視点から再度点検し、必要な場合には修正を施すなど適切に対応してきている。また、昨年度と同じように、「私立大学等改革総合支援事業」への申請対応を目的に臨時の会議を8月末に2日連続で開催し、松本大学はタイプ3が(短大部は採択なし)採択された。

(3) コンプライアンス委員会 (全学運営会議メンバーと同一)

コンプライアンス委員会は、2019年度まで自己点検・評価委員会の中にコンプライアンス推進部会としておかれていたが、昨(2020)年度に、法人全体を統一するとの観点から法人として「コンプライアンス委員会」を設置したことを受け、本学も部会から委員会へ変更し根拠規程として「松本大学コンプライアンス委員会規程」を整備した。委員会活動としては、前年度同様、4月1日の年度初めに開催された合同教授会において、「研究活動における不正行為への対応に関する規程」、「公的研究費の管理・監査のガイドライン」を配付するとともに、「学校法人松商学園コンプライアンス行動規範」について周知し遵守を呼びかけ、同規程・ガイドラインを遵守する旨の誓約書が全教員から提出されている。以上は定例化されたものであるが、形式に墮することのないよう、e-learningの実施や書籍の配布などをもって内容の一層の充実に努めた結果、年間を通じてコンプライアンスを巡って取り上げるべき案件は発生しなかったものと判断している。

(4) 内部質保証室 (全学運営会議メンバーと同一)

内部質保証に関連する自己点検・評価、FD・SD、IRの3委員会を統括する「内部質保証室」は、2019年度に設置され、上記の全学運営会議のメンバーを構成員とし、学長が室長としてマネジメントしている。2021年度における本会議の開催状況は、審議事項を扱った会議に絞ると以下のとおりであり、その後に各委員会の特徴的な案件についてまとめておくこととする。

第1回 4月27日(火)13:30~13:45 欠席なし

i) FD・SD委員会

- ・平和教育の予算立てについて審議し了承された。
- ・ティーチング・ポートフォリオへの記載状況(約30%)が報告され、あらためて記入を依頼することが確認された。

第2回 5月11日(火)13:30~13:40 欠席なし

i) IR委員会

- ・2020年度卒業時アンケートの集計終了が報告され、今後、FD・SD研修会で集計結果について報告することが確認された。

第3回 5月25日(火)13:30~13:40 欠席なし

i) 自己点検・評価委員会

- ・5月11日(火)に開催された認証評価受審準備WG会議における議論を踏まえ、①各学部・学科のアセスメント・ポリシーを点検の上、②関連するデータを確認することおよび、③データの分析担当者を選任すること等について周知を図り対応するよう要請があった。

ii) FD・SD委員会

- ・年間行事として予定されている6月第5水曜日のSD研修会について、ハラスメント防止に関わる内容とすることが提案され、審議の結果、異議なく了承された。
- ・短期大学の1学期授業アンケートの実施率が75%であったことが報告された。

第4回 6月8日(火)14:10~14:30 欠席 なし

i) IR委員会

- ・山田全学入試・広報委員長及び宮坂IR委員より、松商学園高校からの進学者データの分析結果について、「入学者数に同校出身者の占める比率」「女子学生の比率」「平均GPA」「退学率」などを中心に各学部・学科の状況並びに特徴等が説明され、今後、カリキュラム改革や学生募集等に反映させていきたいとの報告がなされた。

ii) FD・SD委員会

- ・6月30日(水)のSD研修会について、ハラスメント防止に関する内容とし、講師は高野尾弁護士であるとの報告がなされた。なお、実施方法はTeamsを利用。

iii) 自己点検・評価委員会

- ・『2020年度 自己点検・評価報告書』の校正作業について、全学運営会議メンバーで分担することが提案され、了承された。

第5回 9月7日(火)13:30~14:15 欠席 なし

i) FD・SD委員会

- ・「2021年度学修行動調査」の質問項目について、オンライン授業に関する項目および、設問における選択肢の細分化などを中心に加筆・修正が提案され、異議なく了承された。

ii) IR委員会

- ・ライズ(株)のシステムを利用した、室谷総合経営学部教授並びに上條IR委員による「総合経営学科2019年度新入生に対する基礎学力e-learningシステムの学習効果」(『教育総合研究』第4号に掲載)を、同社のホームページに「e-ラーニング利用事例」として掲載要望があることが紹介され、議論の結果、了承された。
- ・IR活動の一環として実施された分析データの扱いについて、研究倫理委員会より個人情報保護の観点から扱いに慎重を期するよう要望があったことが紹介された。

iii) 自己点検・評価委員会

- ・『2020年度自己点検・評価報告書』が、7月30日付けで発行されたことが報告された。

第6回 9月21日(火)15:35~16:00 欠席 なし

i) IR委員会

- ・IR活動に関わり、各種データ収集の意義および目的、利活用の方途、個人情報の保護などについて、主たる対象となる学生に対し、入学時に文章をもって説明し同意を得ていくことが説明され了承された。
- ・別添資料に基づいて「2020年度学修行動調査」の調査結果並びに分析結果等の報告がなされ、これらを後日のSD研修会の内容として扱うことが提案、承認された。

第7回 10月12日(火)17:00~17:20 欠席 なし

i) IR委員会

- ・IR委員会の実質化および活動の組織化について、10月15日(金)に、各事務部署に配置されているIR委員を対象に説明・打合せを行うことが提案され、了承された。

ii) FD・SD委員会

- ・「2021年度授業アンケート」および「2021年度学修行動調査」の回答率について、前者は大学66.4%、短大部74.1%、後者は途中報告であるが、総合経営学部71%、人間健康学部70%、教育学部66%、短大部92%であり、全体としては74%であったことが報告され、いずれも目標としていた80%には達していないことが報告された。特に、1年生と4年生が低率であり、あらためて周知、要請することとした。
- ・9月29日に実施された第2回SD研修会について、127名の教職員の参加があったことおよび、100件ほどの意見や感想が寄せられたことが報告され、それらを踏まえて各学部・学科でアンケートの集計結

果について検証の場を設けるよう要請がなされた。また、報告された各種データについては、研修会終了後速やかに本学ホームページに掲載し公表することが確認された。

第8回 10月26日(火)17:00~17:15 欠席なし

i) IR委員会

・10月12日(火)の本委員会で確認された、各事務部署に配置されているIR委員担当者を対象とする説明・打合せの実施報告がなされた。

ii) FD・SD委員会

・「2021年度学修行動調査」の最終回答率について、総合経営学部77%、人間健康学部79%、教育学部72%、短大部93%、全体としては80%であり、かろうじて目標に達したことが報告された。

第9回 11月9日(火)16:50~17:15 欠席なし

i) FD・SD委員会

・資料に基づいて、2022年度の教育企画推進経費の募集を行うことが提案され、承認された。
・授業アンケート結果を踏まえた改善計画(ポートフォリオ)の入力状況について、未入力科目が散見されることから、各学部・学科で記載を促すよう要請がなされた。

第10回 11月23日(火)16:50~17:20 欠席なし

i) FD・SD委員会

・次回のFD・SD研修会について提案・検討がなされ、仮のテーマとして「3ポリシーの点検・評価に向けたアセスメント・テスト結果と就職状況の関係分析」とすること、12月中旬にオンデマンド方式で実施することなどが提案され、異議なく了承された。
・前期授業の改善計画の入力状況並びに後期中間授業アンケートの回答状況について、前者は大学82.1%、短大部95.6%であり、後者は、大学52.6%、短大部71.8%であることが報告され、それを基に、後者について80%を目標にあらためて取り組むことが確認された。

第11回 12月7日(火)16:50~17:10 欠席 岸田

i) IR委員会

・「2021年度卒業生アンケート」について、2020年度の内容を資料に基づいて確認の上、変更なしで実施することが確認・了承された。なお、実施日は、各学部の卒業生オリエンテーション日とすることが併せて確認された。

ii) FD・SD委員会

・2021年度第1回FD研修会について、テーマを「3ポリシーの点検評価に向けたアセスメント・テスト結果と就職状況の関係分析」とし、報告者：上條IR委員、実施方法：オンデマンド(12/20~24の期間に視聴)とすることなどが報告、確認され、各学部教授会において周知・徹底するよう要請がなされた。
・各学科からの教育企画推進経費の申請について、12月16日までに提出するよう要請がなされた。

第12回 12月21日(火)16:50~17:30 欠席なし

i) FD・SD委員会

・2022年度教育企画推進経費について、申請された内容が資料として示され、各申請とも学科としての取り組みであり経費の積算根拠が明確であること等から、申請額を満額認めることとしたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

第13回 1月18日(火)17:50~18:00 欠席なし

i) FD・SD委員会

・2022年度教育企画推進経費について、教育学部・学校教育学科からは申請がなかったことが報告された。

第14回 1月25日(火)16:50~17:00 欠席なし

i) FD・SD委員会

・2022年度に実施予定の「平和教育実践活動」(菅谷学長担当)に係る経費について、教育企画推進経費として審査・査定を行い、内容および積算根拠等が明確であることが説明され、申請額を認めることとしたいとの提案がなされ、異議なく承認された。

ii) IR 委員会

- ・2021年度卒業生が内定をいただいた企業に対し、「進路先アンケート」を依頼することおよび、内容は経年比較の観点から昨年度と同様のものとしたいとの提案がなされ、異議なく承認された。

第15回 2月21日(月)15:00~15:10 欠席なし

i) IR 委員会

- ・資料「2021年度学修行動調査結果(松本大学)」に基づいて、コロナ禍におけるオンライン授業の実施による影響と思われる項目が複数散見されるなどの特徴を含め、詳細な報告がなされた。また、これをもって本学ホームページに掲載することが確認された。

ii) 自己点検・評価委員会

- ・認証評価受審に向けて、準備WG情報交換会を、3月中に開催予定であることが報告された。

第16回 3月8日(火)10:50~11:20 欠席なし

i) IR 委員会

- ・資料「2021年度松本大学松商短期大学部学修行動調査結果」に基づいて、調査・分析結果が報告された。特徴的な点として男子学生の占める割合が以前は1割程度であったが3割程度まで高まっており、その25%程度は不本意入学であり、学業に対するモチベーションが低く就職活動が鈍いことなどから、指導方法・内容の工夫が必要と考えられると説明された。

ii) FD・SD 委員会

- ・資料「2021年度松本大学卒業時アンケート調査結果」および「2021年度松本大学松商短期大学部卒業時アンケート調査結果」に基づいて、調査・分析結果が報告された。

卒業時におけるアンケート調査のため好意的な回答傾向になることが考えられるが、教員によるサポート体制に対する高い満足度が目立っている。この他、例年どおり施設整備に関する要望、新型コロナウイルス感染症の影響による課外活動の制限への不平不満が多くみられた。また、寄せられたコメントの中で、対象者(教員・職員)が特定できるものについては、4月以降に対象者へのフィードバックを行うことが提案、了承された。

併せて、本調査・分析結果については、本学ホームページに掲載・公表することが確認された。

- ・授業アンケートについて、2019年度以降Web上で実施しており、業務負担の軽減、時間の短縮等には繋がっているものの、アンケート回答率は下降傾向で目標とする80%を大きく割り込む結果となっており、その要因として、①担当教員からの学生への周知不足、②本アンケート実施に対する意識・認識の低下、③負担感、マンネリ化などが考えられると報告がなされた。

併せて、授業アンケート調査が意義あるものとなるよう、アンケート項目の内容や量、実施方法などについての検討を次回全学運営会議(3/22開催予定)前に行いたいと提案がなされ、了承された。

第17回 3月22日(火)11:10~11:20 欠席なし

i) IR 委員会

- ・各種アンケートについては回答率80%以上を目標に掲げているものの、授業アンケートにおける過去3年間の平均回答率は大学で56~66%、短大部で70~75%であるとの報告がなされ、これまでの議論の中では負担軽減を目的に実施回数を減らすなどの提案があったが、アンケート結果の有効活用の観点から従来どおりの方法で実施することとなったとの報告がなされた。その上で、あらためてアンケート調査への協力要請がなされた。

- ・高度化・多様化する大学運営に的確に対応できる人材の育成や授業改善やカリキュラム改革に資することなどを目的に、「2021年度学修行動調査集計結果」並びに「2021年度卒業時アンケート集計結果」に基づくFD・SD研修会をオンデマンド形式で開催していることが報告された。3月23日現在、視聴者数は約40名であるため、各学科長より各科所属教員へ視聴を促していただきたいとの要請がなされ、併せて、自由記載欄のコメントについては必要に応じて学部・学科内での議論に役立てていただきたいとの依頼がなされた。

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、2020年度まで、「認証評価準備部会」と「コンプライアンス推進部会」を内部組織として置いていたものの、前者については、2022年度受審に向けた実務組織として「認証評価準備WG(仮称)」を別途立ち上げたことおよび、今(2021)年度前期に委員会規程の全面的改正がなされたことなどを機に廃止することとした。また、後者についても、法人全体を統一するとの組織決定を踏まえて「コンプライアンス委員会」が独立して設置され、それにより「松本大学コンプライアンス委員会規程」が整備されたことから、前者と同様の措置をとって廃止された。その活動状況は既述のとおりである。

なお、「認証評価準備WG(仮称)」については、2021年度から2022年度に限定された任務として本委員会の下に位置づけ認証評価に向けた準備を主導した。

加えて、当委員会は『アニュアル・レポート』『自己点検・評価報告書』『学生版アニュアル・レポート』3誌の編集・発行も担当しており、2020年度版については、『自己点検・評価報告書』が前年度同様7月に発行できたのをはじめ、『アニュアル・レポート』が9月、『学生版アニュアル・レポート』2022年2月と、いずれも年度内に発行することができた。また、2019年度から始まった教員評価の取り組みについても、各教員自身による自己評価が第一次評価者の研究科長・各学部長に提出された後、第二次評価者の学長に提出され、それぞれの段階で評価を受けている。さらに、全学協議会を「教学マネジメント」を司る組織と位置づけた2020年度の確認を受け、今年度もまた、全学運営会議メンバーの中の全学教務委員会担当者を通じて全学的な教学関係課題・事項を的確・適切に把握し、教学マネジメントを実効あらしめるべく努めた。

2) FD・SD委員会

FD・SD委員会は、2020年度まで「FD・SD立案推進部会」と「教育企画推進部会」の2部会を擁し、2018年度から全学運営会議メンバーを委員として、FD・SD研修会の企画・立案、実施を主管するとともに、学部・学科を単位とする教育改革に資する「教育企画推進」をも担当してきている。なお、前者は、アンケートの実施部署を確定できたことから、部会は廃止し業務をFD・SD委員会が所管することとした。なお、各アンケートの実施担当部署については、授業アンケート、卒業時アンケートおよび学修行動調査は教務課が、卒業生アンケートおよび企業アンケートはキャリアセンターが、施設利用満足度調査は学生課が、それぞれ担当することが確認されている。

このように、本委員会は、授業アンケートおよび学修行動調査など各種アンケート・調査についても主管しており、2020年度もまた、それらを滞りなく実施し、2021年度卒業時アンケートおよび学修行動調査の結果については、FD・SD研修会で取り上げ、全体的な傾向と同時に個別に指摘された事項についても、参加した教職員に紹介し、対応策の検討を依頼するなどした。

なお、今年度実施された卒業時アンケートの回答率は下記のとおりである。

・卒業時アンケート(2022年2月実施)

	学科名	卒業予定者数	回答者数	回答率
大学	総合経営学科	92	85	92.4%
	観光ホスピタリティ	84	73	86.9%
	健康栄養	74	74	100.0%
	スポーツ健康	104	92	88.5%
	教育	68	62	91.2%
	計	482	386	91.5%
短大部	商学科	100	96	96.0%
	経営情報学科	95	84	88.4%
	計	195	180	92.3%

また、授業アンケートの平均回答率については、80%を超えることが通例であった従来に比べ低く、とりわけ大学の数値の低さが際立つものとなった。その原因としては、昨年度同様、調査時期がオンライン授業と重なったこと、また、教員の側にも周知が徹底できなかったことなどが考えられる。この点については、あらためて学生・教員双方にアンケートの必要性について周知を図り、着実な実施を確保すべく取り組まねばならない。

教育企画については、2021年度は以下の5件の申請があり、費用の査定を経て実施に移され、報告文章が本レポートに掲載されている。

2021年度 教育企画一覧

学科名等	申請テーマ	予算額	決算額	執行	責任者
総合経営	e-learning systemを使った基礎学力の向上とweb採用テストへの対応	950,000円	799,999円	84.2%	室谷
観光ホスピタリティ	本学科における主要資格(総合旅行取扱・社会福祉士・社会教育士・防災士)取得強化策の取り組み	500,000円	391,314円	78.3%	尻無浜
健康栄養	管理栄養士国家試験受験支援	660,000円	472,988円	71.2%	高木
短期大学部	オリジナルテキストの作成	600,000円	301,400円	50.2%	山添
全学	平和教育活動 ^(注)	1,744,773円			菅谷
全体	5件	3,710,000円	3,710,474円	100.0%	5名

注：「平和教育活動」事業は、年度途中に菅谷学長の発議を受け適確・実施されたものであり、要した経費は、補正予算によって措置した。

また、FD・SDについては、今年度は下記のように通算4回の研修会が持たれ、出欠をチェックした上で、年度末の教員の自己評価にも生かされた。

2021年度 FD・SD研修会一覧

実施日	種類	研修テーマ	講師	参加数	参加率
6/30	SD	判例にみるハラスメント	高野尾弁護士	教員75名 職員34名 (計109名)	86.5%
9/29	SD	2020年度卒業時アンケート及び進路先アンケートの集計結果について	上條IR委員	教員90名 職員36名 (計113名)	9.7%
12/20	FD	3ポリシーの点検・評価に向けたアセスメント・テスト結果と就職等の分析	上條IR委員	教員78名 職員20名 (計76名)	52.4%
3/18	FD・SD	①2021年度学修行動調査集計結果について ②2020年度卒業時アンケートについて	小澤IR委員 丸山内部質保証室員	教員64名 職員31名 (計95名)	75.4%

3) IR委員会

近年、一般選抜や大学入学共通テスト利用選抜の受験者数が大きく伸びているだけでなく、受験者層も大きく変化してきている。したがって、こうした状況にフィットした募集方法、そして、入学者層の変化にともなう教育・学修のあり方の創造など新たな対応が求められている。そうした状況を踏まえ、いずれ

の学科においても、入学試験時の成績や入学後の成績、あるいは卒業後の進路など、大学生活の全てのステージを通じたデータの収集と分析が必要であり、その理解を深めるためのIR活動が必要・不可欠になっている。本学では、それに応える活動は緒についたばかりであると言わざるを得ないが、その前段階としてのデータ収集、あるいは、2019年度の確認事項である卒業後2年目あるいは4年目の卒業生およびその就職先企業等に対するアンケートの実施などに取り組み始めている。また、それを専門に担当する人材として2022年1月に1名を採用し、来年度にはさらにもう1名を配置する予定である。

2021年度のIR活動としては、昨年度に引き続き「総合経営学科2020年度新生に対する基礎学力e-learningシステムの学修効果」についてと題し、総合経営学科の矢崎准教授並びに室谷教授が担当してデータの収集・分析がなされ、その結果を『教育総合研究』第5号(2021年11月発刊)に執筆し、掲載された。また、2020年度に確認された松商学園高校から本学に進学した学生を対象に入試から就職までの諸データを収集・解析する取り組みについては予定どおり実施され、既述のように、担当者の山田全学入試委員長および宮坂IR委員から6月8日に開催されたIR委員会において、「入学者数に同校出身者の占める比率」「女子学生の比率」「平均GPA」「退学率」などについて各学部・学科の状況並びに特徴等が報告され、今後のカリキュラム改革や入試戦略等に反映させていくことが確認されている。

B：保険・衛生

(1) 健康安全センター運営委員会

1) 学生の健康管理

①学生健康診断

新型コロナウイルス感染症拡大予防および健診業者変更のため、例年4月に実施していた学生健康診断を8月に変更して実施した。

8月6日・10日・12日・13日 受診者数 1,982名

胸部レントゲン検査 要精密検査該当学生保健指導(1名)

②学校感染症抗体検査

6月25日・29日・30日：331名

結果返却・事後指導

③保健師対応

4月1日～3月31日 学生利用 実人数84名／延べ人数104名

急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談など

医療機関移送 3件(健康安全センター)

※保護者相談対応：実人数4名／延べ人数16名

※来学者対応：実人数1名／延べ人数1名

④カウンセラー対応

4月1日～3月31日 学生利用 実人数13名／延べ人数15名

2) 学生への健康教育

6月4日 健康栄養学科1年生 基礎ゼミナール「大学生のメンタルヘルス」

7月 全学生対象「新型コロナワクチンについて」

12月10日 健康栄養学科3年生 「アナフィラキシーショックへの対応」

12月17日 健康栄養学科1年生「医療機関における他職種連携」

3) 救護対応

11月6日 総合型選抜(短大)

11月13日 総合型選抜(大学)

- 11月20日・21日 推薦前期入試
- 12月11日・12日 推薦後期・編入他入試
- 1月15日・16日 大学入学共通テスト
- 2月5日・6日 一般A入試
- 2月27日 一般B入試
- 3月9日 一般B入試
- 3月14日 一般C入試
- 3月23日 一般C入試

4) 安全な学習・就業環境の整備

- ①AED(自動体外式徐細動器)の整備
 - a) 日常点検の徹底
 - b) 消耗品等適宜整備
- ②救急箱の整備・貸し出し
 - 4月1日～3月31日 貸し出し実績 3件

5) 感染症対応

- ①新型コロナウイルス感染症対応
 - 4月1日～3月31日 感染者・感染疑い・濃厚接触者・ワクチン副反応等対応：287件
 - 8月31日～9月8日 陸上競技部 集団発生対応
 - 1月17日～24日 硬式野球部 集団発生対応
 - 1月25日～31日 スポーツ健康学科 集団発生対応
 - 8～11月 新型コロナワクチン接種対応
実施日数：20日、接種回数：4,540回
- ②インフルエンザ対応
 - a) 学内感染者の把握・情報収集
 - 4月1日～3月31日 インフルエンザ感染報告・登校および出勤禁止措置
学 生 0件
教職員 0件
- ③感染拡大防止対策
 - a) インフルエンザ予防接種の実施
 - 11月24日 教職員 119名
学 生 68名(強化部)

6) 学生寮の衛生管理

- ①松球寮(硬式野球部)、あずさ寮(女子ソフトボール部)の次亜塩素酸水による消毒指導、消毒薬準備
- ②松球寮、あずさ寮の寮食メニューのチェックおよびアドバイス

7) 心肺蘇生法啓蒙活動

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送った。

8) 障がい学生支援

障がい学生支援会議のメンバーとなり、障がいをもつ学生の状況、必要な支援などの検討に参加した。

9) 学会・研修

- 9月10日 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 看護職初任者講習会(講師)
 9月17日 全国大学保健管理協会 関東甲信越研究集会 シンポジウム(シンポジスト)

10) 全国大学保健管理協会

2013年4月1日～ 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会保健看護分科会 運営委員に保健師が就任。2020年度より保健看護分科会 運営委員会副委員長、関東甲信越地方部会 私立大学幹事、全国大学保健管理協会 評議員に就任。

- 9月13日 運営委員会(リモート)
 10月22日 運営委員会(リモート)
 12月6日 運営委員会(リモート)

11) 会議

長野県内の大学保健管理施設を担当する保健師・看護師の情報交換・知識技術の向上・研修等を連携して行うことを目的に「長野大学保健管理施設担当者会議」を設立した。

- 9月3日 第8回担当者会議(リモート)
 2月17日 第9回担当者会議(リモート)

(2) 衛生委員会

2021年度においては、主として次のような取り組みを行った。

1) 教職員の健康管理

①健康診断

- 6月2日 教職員定期健康診断(松本大学) 44名
 6月9日 教職員定期健康診断(松本大学) 38名
 6月～3月 教職員健康診断(医師会医療センター) 5名
 5月～2月 教職員胃検診(松本市医師会医療センター) 11名
 4月～3月 人間ドック 受診者82名

健康診断・胃検診・人間ドック受診者に対し、結果の説明、保健指導を実施した。

②保健師対応

- 4月1日～3月31日 実人数 31名／延べ人数 42名
 急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談、学生対応に関する相談など
 救急搬送1件、医療機関移送1件(健康安全センター)

③カウンセラー対応

- 4月1日～3月31日 実人数 4名／延べ人数 8名
 学生に関する相談 など

2) インフルエンザ予防接種

学内で接種を受ける教職員に対し、1,700円の補助を実施。

11月24日 119名

3) 新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止対応

教職員に対して、感染予防行動の啓蒙周知、体調不良時の出勤停止措置対応、感染についての相談対応などを行った。

新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席し、専門的見地から感染防止対策に努めた。

4) 療養を要する教職員のサポート

医師の診断により、療養が必要とされた教職員に対し、医療機関受診の同行、療養中のサポート、医療機関との連携、復帰にあたってのプログラム作成、復帰後の面談等サポートを行った。

(3) 人権委員会

人権委員会はハラスメント防止部会と個人情報保護推進部会の2部会から構成されており、委員は各学部学科から教員7名(男性3名、女性4名)、事務局長を含む各部署から職員5名(男性3名、女性2名)の合計12名(男性6名、女性6名)で構成されている。また、ハラスメント等の相談を受けるハラスメント相談員12名(男性6名/女性6名)が選出されている。

1) ハラスメント防止部会

「松本大学人権委員会規程」、「松本大学ハラスメントの防止に関する規程」及び「松本大学・松本大学松商短期大学部アカデミック・ハラスメント及びパワー・ハラスメント防止等に関するガイドライン」を体系的に見直し、三者の内容の重複や不整合を修正し、この修正案について2021年5月25日から6月1日までの間、メール審議で人権委員会に諮り、審議の結果、承認されたため、これらの運用の手続きを進めた。

上記の関係規程等の修正に伴い、①本大学HPのサイト「ハラスメントのないキャンパスのために」の内容を修正、②『2021年度学生便覧』の「キャンパスハラスメント」の内容を見直し、それについて本大学HPにてアナウンス、③本学ハラスメント相談員の氏名を本大学HPで公開した。

6月30日に本学のハラスメント外部アドバイザーである高野尾三穂弁護士を講師に迎え、「判例にみるハラスメント」と題して研修会を実施した。

11月12日から25日までの「女性に対する暴力をなくす運動」週間に、人権意識の啓発活動の一環として学内にポスターを掲示したり、啓発カードやシール、相談窓口を紹介する啓発リーフレットを学生課カウンターに設置した。

2) 個人情報保護部会

2021年度では、特別な活動はなかった。

C：施設管理

(1) 施設管理センター運営委員会

2021年度における施設設備の整備に関する主な事業は次の通りである。

①IC学生証・教職員証の新システムの円滑な運用

学生証・教職員証の非接触タイプの移行に伴い、出退勤管理、図書館やPC教室の入退管理等の諸システムも変更した。

②総合グラウンド人工芝張替工事

敷設から10年が経過し(耐用年数7年)、使用頻度が高いため劣化が進み怪我をするリスクが高まっていることに対応するため、全面的な張替工事を実施した。

③2階連絡路(渡り廊下)補修工事

当初計画箇所を一部変更して実施した。7号館と2号館をつなぐ渡り廊下部分については優先順位を下げて問題ないと判断し、5号館から体育館横を通じて6号館に続く渡り廊下部分を先行して改修工事を実施した。4号館と5号館をつなぐ部分は当初計画のとおり実施した。

④教室間授業同時配信システムの整備

新型コロナウイルス感染症感染防止対策として教室分散型授業の実施や教室の収容人数に制限をかけている授業を改善するため、複数教室に同じ授業を同時配信できるシステムについて、文部科学省の補助金を活用しつつ、121教室と232教室、811教室、812教室に整備工事を実施した。

⑤2号館232教室(階段教室)全席背座生地張替工事

老朽化が進む2号館232教室の椅子の背座面を計画通り全席張替えを行った。

⑥高額機器の購入と更新

2021年度においては、高額機器の購入と更新等を、計画に従いつつ、次のものについて実施した。

- ・味認識装置の購入
- ・高速液体クロマトグラフィーの更新
- ・電気消毒保管庫(3号館学生食堂)

⑦新型コロナウイルス感染症対策

7号館及び9号館の各コモンルーム、9号館2階食堂及び3号館ラウンジに、卒業記念品として贈呈された高性能・大型空気清浄機を設置した。コロナ禍が続く中、感染拡大防止及び学生の安心感を高めることにつなげた。

(2) 危機管理委員会

現在社会において大学に求められるリスクマネジメントの対象になる事象は、大規模災害への対処、インターネット社会における情報セキュリティの確保、研究倫理の定着とコンプライアンス意識の啓発、キャンパスの安全管理とハラスメント対策など、と非常に広範囲にわたるものである。これらの課題に対する具体的な取り組みは、本委員会では環境保全と防犯・防災対策の2部内で進めており、主として次の活動を行った。

1) 環境保全

[活動実績]

- ①古紙・段ボール等の資源回収は障がい者就労支援事業所の第2コムハウスと契約して発生量に合わせて回収している。また、エコ・キャップは常時学内で回収する専用の箱を設置している。
- ②学内の行事の際、資源回収、環境保護の観点に留意するように働きかけている。
- ③大学全体の1年間の電気使用料は照明のLED化などにより予算内での支出で対応することができた。

2) 防犯・防災対策

[活動実績]

- ①防火(消防)・防災(避難)訓練(2回/年)の実施
 - 1回目の訓練は、8月17日に実施(消防署からの指示により机上訓練を実施)
 - 2回目の訓練は、11月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により消防署からの指示により中止。
- ②防犯カメラ(屋外カメラ)の更新

2014年に設置した防犯カメラ75台のうち、経年劣化が進んでいた屋外カメラ13台を更新した。
- ③消防用設備定期点検(法定点検 2回/年)
 - 1回目の点検は、8月18日～8月20日に実施。
 - 2回目の点検は、3月16日～3月18日に実施。

いずれも不良箇所の指摘はなかった。その他、2023年末までに交換が必要な消火器が107本、2024年末までに交換が必要な消火器が1本あるため、2023年度予算に交換費用を計上する予定。
- ④防火設備点検(法定点検 1回/年)

8月18日に実施した。指摘を受けたは正箇所(防火シャッターの自動開閉装置の交換、防火戸の閉鎖装置の交換)については、9月15日に対応した。
- ⑤防災管理点検(法定点検 1回/年)

8月17日・18日に実施した。ロッカー、書棚等の転倒防止処置と災害時の非常食、飲料、医薬品等の備蓄について指摘を受けた。

⑥屋外広告物定期点検(法定点検 1回/3年)

9月16日に実施。指摘を受けた是正箇所(サイン接着部のゆるみ)については、10月1日に対応した。

⑦防災管理点検結果に基づいて、2021年8月下旬～9月上旬にかけてロッカー、書棚等の転倒防止・耐震補強工事を実施した。

2. 入試広報部門

(1) 全学入試・広報委員会

入試・広報委員会は、大学院・総合経営学部・人間健康学部・教育学部・松商短期大学部の代表および入試広報室の職員から構成されている。2021年度も大学院代表が委員長を務めた。

全学入試・広報委員会の役割は、①学生募集に関すること(キャンパス見学会、進学説明会、高校訪問など)、②入学者選抜に関すること(入試改革への対応、入試問題の作成と確認、入試業務の運営など)、③①～②で全学的調整が必要な場合、各学部学科、または全学運営会議・全学協議会との連絡を行うこと、④受験生・在学生・保護者・地域住民等に対して、本学で行われている教育・研究・社会貢献活動等についての情報を発信し、広報していくことである。

また、入試委員会の関連組織として、入学試験問題の作成に携わる入試問題検討会と総合型選抜の企画・運営に携わるアドミッション・オフィス運営委員会がある。

1) 委員会開催

4月7日(水)、5月6日(木)、6月3日(木)、7月1日(木)、9月2日(木)、10月6日(水)、11月10日(水)、12月8日(水)、1月5日(水)、2月2日(水)、3月16日(水)の11回開催した。審議・決定した内容は下記のとおりである。

①今年度の入学者選抜について

今年度に行う入学者選抜について、全体として下記のことを確認した。

〈全体〉

- ・新型コロナウイルス感染症警戒レベルに応じた入学者選抜の実施判断について、レベル1～5までは通常通り選抜を実施し、レベル6(緊急事態宣言)の場合には延期して対応する。
- ・選抜試験において、新型コロナウイルス感染による受験生の欠席が予想されるため、昨年度同様に次の同区分の入試を追試として受験できることとし、同区分の入試が複数回ない場合は別日程で対応することとする。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大によって部活動等の大会日程が変更となり、総合型選抜(指定競技)Ⅰ期の試験日と重なってしまった受験者についても新型コロナウイルス感染症が原因の追試対象者とする。
- ・学校推薦型選抜前期・後期、一般選抜A、B、C、共通テストⅠ、Ⅱ、Ⅲ期で行っていた重複割引を廃止し、それぞれ個別に受験料を徴収することにする。
- ・受験料の返金は、基本は一切行わないことを募集要項に明記しているが、受験料の二重払いおよび、本人の責に帰さない場合(誤った指示等での出願等)には返金の対象とする。
- ・一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜における学力特待生は、申告制から受験生全員を対象に変更する。
- ・これまで個別対応をしてきた障がい等を有する受験生については、今後は事前相談書を活用して決められたルールのもとに行う形に変更する。

各学部学科で選抜内容や定員の割り振りを下記のとおりに見直した。

〈総合経営学部〉〈健康栄養学科〉

- ・基本、昨年と同様。

〈スポーツ健康学科〉

- ・指定校推薦での入学者を50名ほど確保することを目指すため、指定校枠を90枠(うち新規30枠)増枠した。

〈教育学部〉

- ・コロナウイルス感染症対策で下げていた指定校推薦基準の評定値を一律0.2引き上げて元に戻した。
- ・総合型選抜(特別技能)では英語・英語教育または国際情勢に関し興味関心が深く、既定の外部英語検定や海外留学経験を評価するため、名称を総合型選抜(英語)に変更した。

- ・学校推薦型選抜や総合型選抜(英語)において、加点式で英語の外部試験を導入した。
- ・一般選抜において、必修科目を「国語」1教科から「国語」または「英語」の2教科から1教科を選択必修に変更した。
- ・「スカラシップ」入試は存続することとした。

〈松商短期大学部〉

- ・一部修正した。

〈大学院〉

- ・2022年4月の総合経営研究科修士課程の設置が認可されたため、初めての入学者選抜を行う。

②キャンパス見学会について

- ・午前と午後の2部制とし、人数を制限して完全予約制とし、昼食の提供は中止した。送迎バスも松本駅からのシャトルバスのみ配車した。内容は、学科説明会、ミニ講義または体験講座、入試相談、総合型選抜説明会、面接対策講座とした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、9/25のキャンパス見学会は中止した。

③広報について

- ・新型コロナウイルス感染症に対する大学の対応や入学者選抜実施の注意点について、随時、HP上で発信するとともに、学内で情報を共有した。
- ・高校訪問や高校からの来校要請(出前講義、進路相談等)、高校開催の進路ガイダンス、業者提案の会場型ガイダンスへの参加や高校生の大学見学、キャンパス見学会、入試相談会については、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルに応じて中止したり、規模縮小および完全予約制の導入等を行って開催した。
- ・入学者募集要項はWebのみでの発信とし、大学案内および短大ナビゲーションは、登録データがある高校生に郵送した。
- ・これまでに引き続き、Web学校ガイダンスや教員による講義等を動画配信した。
- ・学報『蒼穹』の第143号～第146号を編集・発行した。特集については「更なる飛躍に向けて『第二次中期計画』を策定」「社会科学的な防災・災害の研究と実践を通して地域社会に貢献する松本大学『地域防災科学研究所』の発足」(2021年6月号)、「多様に展開される教員の研究テーマ【第2弾】」(2021年9月号)、「2022年度から新カリキュラムがスタート学修の幅を広げ、時代の変化を見据えた教育を展開」(2021年12月号)、「在学生の今井選手、卒業生の岩淵選手・杉本選手 北京冬季五輪大会出場—本学『強化選手制度』の一つの到達点—」(2022年3月号)とした。

④その他

- ・総合経営学部の総合型選抜(指定競技)Ⅰ期において、受験生1名が不合格となったため、その後の対応について協議し、スポーツ健康学科総合型選抜(指定競技)Ⅱ期を受験・合格した。
- ・松商学園高等学校との間で、大学入試の現状と本学入学者に関する相互理解を深めるために、進路指導教員および3年生の担任と本学教職員との間で、3年連続となる説明会を行った。
- ・高等学校教員に対する学生募集説明会を本学と長野市において対面で行った。
- ・教務課から提供された各種データ(GPA、退学・除籍者分析、卒業率・退学率・留年率、新入生ブレインメントテスト、学修行動調査等)をふまえて入学者の追跡調査を行い、入試の妥当性について各学部学科において検討した。
- ・今年度の一般選抜Aの地方会場は昨年と同様、長野、甲府、新潟、高崎の4カ所とした。
- ・各種規程の整備および改正をした。
- ・アドミッション・オフィス運営委員会から、現在予定している総合型選抜方法の実施が困難になった場合の代替案の提案を受けた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度も昨年度同様に対面による入試問題検討会は開催しないこととし、チェック担当教員と作題者の間で、個別に電話・オンライン・メールにて連絡を取り、問題を作成していくこととした。

- ・各学科の入試広報委員から月間イベントや行事、学会等の予定を報告してもらい、議事録に表記することとした。これをもって他学科との情報共有を図っていくこととした。
- ・今年度末に設置される「松本大学障がい学生支援会議」への全学入試・広報委員長と入試広報室長が参加し、全学的に障がいを持った学生に対応することとなった。

2) 事業・活動

①キャンパス見学会の実施

高校生を対象にしたキャンパス見学会を実施し、大学及び各学部学科の魅力をアピールするとともに、入試や就学に関する様々な相談に対応して受験者の獲得に努めた。なお、日程並びに動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。

②学外での模擬授業・模擬面接の実施

学外、多くは高等学校で実施される模擬授業並びに模擬面接に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。

③学外での説明会参加

学外で実施された大学・学部・学科の説明会に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。

3) 入試問題検討会

大学または各学部学科のアドミッションポリシーに則った①入試問題の出題方針の決定、並びに②方針通りに入試問題が作成されているかの確認を行うことを目的としている。

(a) 検討会開催

外部作問者が主に首都圏に在住であり、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、今年度も対面での会議は開催しなかった。

(b) 事業・活動

①作問案の確認と修正

学内担当者と作問者がオンラインで打ち合わせ等を行い、その内容に関する意見交換等を電話、E-mail、手紙等で行い、必要に応じて修正の上、各担当教員の了承を得た上で、最終作題案が決定された。

②最終的な問題案のチェック

原案をもとに、事務局および科目担当教員と学外作問者間で、内容が適切であるかどうか、誤りがないか等詳細にチェックを行った。

(2) アドミッション・オフィス運営委員会

1) 委員会開催

第1回運営委員会 4月15日(木)大会議室

①学生募集要項に基づき、各学部学科の選抜方法について確認した。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いているため、総合型選抜の1次選抜で実施している模擬授業及び確認テスト(短期大学部を除く)の実施については、感染の拡大状況によって非接触型の代替試験を採用する可能性があるため、代替試験内容を再度確認し各教授会で検討審議した上、次回本委員会で実施内容について情報共有することとした。また、2022年度入学者選抜における各学科の総合型選抜の変更点について確認を行った。

〈総合経営学部〉

昨年同様で変更がないことを確認した。

〈人間健康学部〉

昨年同様で変更がないことを確認した。

〈教育学部〉

「総合型選抜(特別技能)」を、英語能力に絞った形であることがわかる名称「総合型選抜(英語)」に変更する。

〈短期大学部〉

昨年同様で変更がないことを確認した。

- ②総合型選抜に出願するためには、「オープンキャンパスで実施している総合型選抜説明会へ参加すること」を出願資格としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、オープンキャンパスの開催が不確定であることから、昨年度はこの出願資格を設けないこととした。本年度もオープンキャンパスの開催は、同感染症の状況によって中止する可能性があることから、受験生の公正を期すために、昨年同様に出願資格から「総合型選抜説明会参加」を外すことが確認された。
- ③学生募集要項に基づき、各学部学科のアドミッションポリシーを再確認した。

第2回運営委員会 5月28日(金)大会議室

- ①新型コロナウイルス感染拡大に伴う総合型選抜の実施基準は、松本大学活動制限指針レベル5までを、計画通りに行うこととし、同指針のレベル6(緊急事態宣言)が発令された場合の対応については、昨年度検討した代替案を運用することとした。
- ②教育学部総合型選抜(特別技能)の区分名称を総合型選抜(英語)へ名称変更することが報告された。
- ③教育学部総合型選抜(一般・英語・地域)において「英語資格・検定試験」による加点方式を取り入れることについて確認した。CEFRにおけるB1以上の受験生には、満点を上限としてB1が3点加点、B2以上が5点加点とする。

2) 事業・活動

- ①新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑え、各学部学科でアドミッションポリシーに沿った総合型選抜を行った。
- ②学科の特色ある総合型選抜の実施を目指し、数年先を見据えて選抜方法の検討を続けていくことを確認した。

(3) 大学入学共通テスト実施委員会

大学入試共通テスト実施委員会は入試広報部門にカテゴライズされている委員会である。実施責任者(委員長)1名と連絡・調整担当者1名及び各学部委員2名ずつ、加えて担当職員から構成されている。主な業務(大学委員会構成における対応すべきテーマ)は、大学入学共通テストの準備と実施等である。

1) 会議及び実施事項

- ①大学共通テスト長野県地区連絡会議
7月8日(木)オンラインによる打ち合わせ 於：2号館情報センター会議室
・追試験会場の変更等について
- ②大学共通テスト中信地域担当者会
8月5日(木)オンラインによる打ち合わせ 於：2号館情報センター会議室
・新規利用を予定している松本看護大学の関与についての打ち合わせ等について
- ③大学入学共通テスト実施委員会
12月1日(水) 於：大会議室
・委員及び関係事務職員打ち合わせ
- ④体調不良を申し出た受験者対応の予行演習
12月17日(金)
・感染症の現状と教室等の準備及び対応について
- ⑤配慮者対応のリスニング練習
12月24日(金) 於：811教室

- ・ 監督者による CD プレーヤー操作練習
 - ⑥第1回監督者会議
12月24日(金) 於：524教室
 - ・ 監督者チーム分けおよび変更点を中心とした説明会
 - ⑦第1回リスニング試験予行演習
1月5日(水) 於：524教室
 - ・ リスニング概要説明
 - ⑧第2回リスニング試験予行演習
1月11日(火) 於：525教室
 - ・ リスニング事故対応練習
 - ⑨第2回監督者会議
1月14日(金) 於：524教室
 - ・ 監督者に向けた業務内容の詳説
 - ⑩試験会場設営準備作業
1月14日(金)
 - ・ 各試験室の設営と検査
 - ⑪大学共通テスト業務の実施
1月15(土)・16日(日)
 - ・ 問題管理, 監督業務及び答案集約
- ※日時や場所は記載しないものの、この他問題仕分け業務等を行った。

3. 研究推進管理部門

(1) 研究推進委員会

1) 委員会開催

・4月28日(水) (第1回)

【審議事項】

①規程の整備について

「松本大学共同研究規程」、「松本大学受託事業取扱規程」、「松本大学受託研究取扱規程」の改正案につき審議の結果、異議なく承認された。

②共同研究の受入れについて

「株式会社トゥーコネクト」、「伊那食品工業株式会社」との共同研究について、健康科学研究科の弘田量二教授から申請がなされた。この件につき審議し、「伊那食品工業株式会社」については、申請内容が共同研究の要件を満たしていることから、申請を認めることとしたが、「株式会社トゥーコネクト」については、不明の点があるため松本保健所の回答待ちとした。なお、後日、要件を満たしていることが認められたため、「株式会社トゥーコネクト」の件も申請を認めることとした。

③ゆうちょ銀行での振込手数料の取扱いについて

会計係より現在、学会の年度会費等1件につき手数料を152円(ATM扱い)としているが、4月、5月は繁忙期によりATMでの対応が難しいため、窓口での振込みとしたい。そのため振込手数料を203円(窓口扱い)として計上したい旨の提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

④法人カード利用限度額変更について

法人事務局より、現行では1カ月の利用限度額につき、個人研究費のみ30万円、これ以外の予算については50万円となっているが、一律、1カ月の利用限度額を30万円としたい旨の提案がなされ、異議なく承認された。

・7月28日(水) (第2回)

【審議事項】

①バイオセーフティに関する規程整備について

松本大学研究用微生物及び人体試料等安全管理規程の整備につき審議の結果、異議なく承認された。

【報告事項】

①教育総合研究誌について

「教育総合研究第5号」への論文執筆意向調査につき、現時点での申し込み状況の説明があり、執筆意向提出締切及び原稿の締切等の日程の報告があった。

・9月22日(水) (第3回)

【審議事項】

①受託研究の受入れについて

一般財団法人飛騨高山大学連携センターから、研究題目「高山市におけるヘルスツーリズムの構築に関する基礎調査研究」(研究担当者：観光ホスピタリティ学科益山代利子教授・中澤朋代准教授)の受託研究の依頼があり、研究目的及び内容について説明がなされ、異議なく承認された。

②私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」の学内募集に係る募集案内等につき、募集案内(案)・申請書様式(案)等、私学事業団より示された研究計画の条件は、昨年度の募集案内から大きな変更はないと説明がなされ異議なく承認された。

③松本大学出版会について

・松本大学出版会規程改正について、新旧対照表により改正条項(出版部数・費用負担等)につき詳細な説明がなされ、異議なく承認された。

・スポーツ健康学科所属の藤江玲子准教授から筑波大学大学院で執筆した博士論文について、松本大学出版会からの出版を希望する旨の申し出があり、審議がなされ、異議なく承認された。

④研究誌編集について

基礎教育センター所属の福島紀子専門員から「松本大学研究紀要」への投稿を希望する旨の申し出があり、有資格者以外からの投稿希望となる為、審議がなされ、異議なく承認された。

・10月4日(月)・10月12日(火)(第4回)(メール審議)

10月4日(月)(10月8日(金)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼をし、委員からの質問、意見を集約し、それを踏まえて10月12日(火)を期限として審議を行った。審議の結果、異議なく承認され、同日、委員に対して、あらためて審議結果を報告した。

【審議事項】

①私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」への申請案件について

審議に先立ち、申請条件の確認が行われ、引き続き、次の3件の申請内容につき審議がなされた。

i)申請者：山田一哉教授

共同研究機関：大阪大谷大学薬学部

テーマ：3T3-L1脂肪大坊におけるcAMP系によるZHX2遺伝子の発現誘導機構の解析と標的遺伝子の検索

申請書の内容について審議がなされ、異議なく承認された。これにより、この取組みを私学事業団に対する本年度の私立大学等経常費補助金特別補助申請に加えることになった。

ii)申請者：守 一雄教授

共同研究機関：大分大学教職大学院

テーマ：東アジア地域における偽装理数嫌い生徒を検出するシステムの構築

申請書の内容について審議がなされ、コロナ禍の状況下において、海外からの教員の招聘は今期の残りの期間(4~5カ月)を考慮しても現実的とは言えず、招聘する必然性についての明確な説明もされていない。また、海外からの教員招聘をネット会議等に変更した場合、計上された海外旅費282千円が削除されると申請条件の所要経費が1,000千円を下回り、該当要件から外れることとなる。以上の点について検討した結果、不採択とした。

iii)申請者：沖嶋直子専任講師

共同研究機関：小林耳鼻咽喉科医院

テーマ：ELISAによる定量と経口負荷試験による、低アレルゲンリングの探索

申請書の内容について審議がなされ、過去の本助成による研究成果があがっていないことから、今後の進捗状況を見て判断すべきであると判断した。また、研究計画と計上された消耗品費に整合性が見られないこと、教育研究用機器備品費(超低温フリーザー)について、用途は理解するが、共同使用を念頭に置いて設置場所を検討する必要があることなどの指摘があった。以上の点から、不採択とした。

②2022年度若手・女性研究者奨励金の公募について

1)申請内容審議 若手研究者奨励金(令和4年4月1日現在で39歳以下が対象)

i)申請者：海沼 亮専任講師

対象研究：若手研究者奨励金

研究課題：大学生における学習動機づけの社会的伝達モデルに関する研究

(副題)：友人関係について

申請書の内容について審議がなされ、異議なく承認された。

・10月27日(水)(第5回)

【審議事項】

①個人研究費と研究助成費の2021年度補正予算および2022年度予算申請について

学内研究費に係る2021年度補正予算申請および2022年度予算申請に係る日程等について提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。今後のスケジュールについては、11月1日付で専任教員に案内通知を发出するとともに、各学部教授会で報告を行う。

【報告事項】

①バイオセーフティ部会の設置について

第2回研究推進委員会で規程が整備された『松本大学研究用微生物及び人体試料等安全管理規程』に基づき、バイオセーフティ部会が設置され、その部会長である安全管理主任者には、同規程第5条第1項により木藤伸夫教授が学長から任命された。

尚、本規程は理事会で承認された後、2021年12月1日から施行となる。

・3月8日(火)・3月11日(金) (第4回) (メール審議)

3月8日(火) (3月11日(金)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議を依頼した。審議の結果、3月11日(金)メール審議期間を経て、異議なく承認され、同日、委員に対して、あらためて審議結果を報告した。

【審議事項】

①2022年度研究助成費について

研究助成費審査委員であるそれぞれの所属長により審査・査定が行われ、まとめられた「学内研究助成審査報告書」に基づき、研究推進委員長により予算額原案が策定されたと報告がなされた。その後、大学事務局長査定、学長・大学委員長査定を経て、2月24日(木)開催の大学委員会へ上程され、承認された査定結果である研究助成費一覧の説明がなされた。審議の結果、異議なく承認された。これを受け、申請者には修正申請書の提出を依頼する。

②公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく誓約書について

誓約書等については、例年同様、4月1日(金)開催の合同教授会において配付、説明し、提出を依頼したいと説明がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

2) 事業・活動

- ・2022年度個人研究費・研究助成費の募集、査定、査定結果の通知
- ・第10回松本大学教員研究発表会開催

2月22日(火)・24日(木)の2日間にわたり、第10回教員研究発表会を開催した。本学では、研究助成費として、学術研究、地域志向合研究、教育推進研究、萌芽的研究、大学間連携による共同研究に対して助成を行っている。本発表会は、これらの研鑽の成果を発表する場である。今年は、29名のエントリーで30演題の発表であった。

新型コロナウイルス感染症の流行のため、学外をフィールドとする研究は遂行上多大な困難があり、研究を中止せざるを得なかったケースもあった。

①研究誌編集

(a) 担当者会議開催

- ・9月22日(水)

松本大学で発行している3研究誌については、各号ごとに編集責任者を依頼し、研究推進委員会の承認を得て委員長とともに査読結果報告を行っているが、本年度は新型コロナウイルス感染症の流行もあったことから、各研究誌に関連する学部長および研究推進委員の推薦を受け、研究推進委員長が依頼した。

(b) 事業・活動

i) 「地域総合研究第22号 Part1」(編集責任者 木藤伸夫教授)7月31日 発行

第1部の松本大学地域総合研究センター研究員報告では、論文6編、研究ノート3編、教育実践報告1編の合計10編を掲載した。第2部では、2020年度地域連携活動経費による活動報告10件、地域総合研究センター特別調査・研究員(松本市地域づくりインターン)活動報告1件の報告書を掲載した。

ii) 「教育総合研究第5号」(編集責任者 岸田幸弘教授)11月30日 発行

論文9編、研究ノート4編、教育実践報告2編、資料1編の合計16編を掲載した。

iii) 「松本大学研究紀要第20号」(編集責任者 山添昌彦教授)3月10日 発行

論文8編、研究ノート3編、教育実践報告1編の合計12編を掲載した。

②発明管理

発明等を行った教職員等の権利を保護すると共に、知的財産権の適正な保護および活用を図ることにより、本学における学術研究の振興および社会貢献に寄与することを目的としているが、本年度の発明申請は無かったため会議等はなかった。

(2) 地域総合研究センター運営委員会

1) 委員会の構成

運営委員長(センター長) 1名

運営委員 教員 8名(研究推進委員長1名、大学院1名、総合経営学部2名、人間健康学部2名、教育学部1名、短期大学部1名)

事務局 9名

2) 事業・活動

①松本市との地域連携事業

a) 松本市地域づくり研究連絡会(継続事業)

担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 白戸 洋教授
総合経営学部観光ホスピタリティ学科 向井 健准教授

・地域づくり市民活動研究集会 2月20日(日) 9時～16時30分

基調講演・パネルディスカッション(9時20分～11時50分)

テーマ：多様性のなかの「学びと自治」

講師・コーディネーター 松本大学総合経営学部 松田 武雄教授

b) 地域づくりインターンシップ戦略事業(2021年度分)

・内容／松本市と「地域づくりインターンシップ戦略事業業務委託契約」(最終年度)を締結し、地域総合研究センター特別調査研究員1名が地域づくりセンターを拠点に研究活動等を行った。

・特別調査研究員：5期生 平林 洸(入山辺地区担当)

②『地域総合研究第22号』発刊

Part1(2021年7月31日)

Part2(2021年9月30日)

③受託事業窓口業務

2021年度の窓口業務として、以下の事業を受託した。

a) 「いくさか歩こう部」講師派遣

委託先機関：生坂村

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子准教授

b) 令和3年度「松川村観光振興及び移住促進支援業務」

委託先機関：松川村

担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 山根宏文教授

c) 令和3年度「キラリ☆アクア健康教室」

委託先機関：筑北村

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 根本賢一教授

d) 6次産業推進にかかわる研究開発業務

委託先機関：あづみの食品

担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博准教授

e) 6次産業推進事業を目的とした研究および商品開発等

- 委託先機関：有限会社齊藤農園
 担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博准教授
- f)「高性能空気清浄機フィルターに付着した日本コウジカビの無害化実験(HEPAフィルターとTPAフィルター比較)」業務における空気清浄機の品質を示すエビデンスの取得方法に関する指導助言業務他
 委託先機関：株式会社トゥーコネクト
 担当：大学院健康科学研究科 弘田量二教授
- g)令和3年度「親子プログラミング教室」業務委託
 委託先機関：安曇野市
 担当：総合経営学部総合経営学科 室谷 心教授
- h)高山市におけるヘルスツーリズムの構築に関する基礎調査
 委託先機関：一般財団法人飛騨高山大学連携センター
 担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 益山代利子教授・中澤朋代准教授
- i)地域食材を活用した商品の企画・展開「スポーツシーンにおける捕食となる商品の開発」
 委託先機関：株式会社MU FACTORY
 担当：人間健康学部健康栄養学科 長谷川尋之専任講師
- j)スポーツシーンにおける補食となる商品の開発
 委託先機関：ホクト株式会社
 担当：人間健康学部健康栄養学科 長谷川尋之専任講師
 ※本受託事業受け入れは、運営委員会では承認されたものの、その後先方からの辞退により取り下げとなった。

(3) 研究倫理委員会

1) 委員会開催

5月18日(火) メール会議

- ①下記の1件の申請について審議し、承認することを確認した。
 ・「2020年総合経営学科新入生に対する基礎学力e-learningシステムの学修効果」
 総合経営学部総合経営学科 室谷 心教授
- ②「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の制定について説明し、倫理審査申請書の改正が必要であることを告知した。注意すべき変更点は、「研究協力機関」などの新たな定義付けが追加されたこと、研究機関の長および研究責任者の責務について一部変更されたことである。

6月25日(金) メール会議

- ①下記の1件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。
 ・「すいか農家における腰痛・膝痛予防のための運動プログラムの開発」
 スポーツ健康学科 田邊愛子准教授

7月8日(木) メール会議

- ①下記の1件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。
 ・「児童発達支援センターにおける障害を持つ児の保護者の食に関するエンパワメントを支援するための質的研究」
 大学院健康科学研究科 廣田直子教授

9月1日(水) メール会議

- ①下記の1件の申請について審議し、継続審議することを確認した。
 ・高等教育におけるキャリア教育に関するアセスメントポリシー指標の有効性の検証」
 大学事務局キャリアセンター 上條直哉係長

10月1日(金) メール会議

- ①下記の1件の申請について再審議し、非該当とすることを確認した。
 ・「高等教育におけるキャリア教育に関するアセスメントポリシー指標の有効性の検証」

大学事務局キャリアセンター 上條直哉係長

- ②承認番号112(条件付き承認)「低アレルギー性リンゴの探索」人間健康学部健康栄養学科 沖嶋直子専任講師について、条件として提示した「第一段階として症状が比較的軽い1~3人の患者を被験者に選定し、安全性を確認した後、第二段階として全被験者を用いた試験を実施していただきたい」に関する進捗状況が報告され、第一段階の研究が完了し安全性が確認できたことが確認された。

11月4日(木) メール審議

- ①下記の2件の申請について審議し、いずれも承認することを確認した。
- ・「Paraphrasing技法の習得がSpeaking能力に及ぼす影響2021」教育学部学校教育学科 和田順一教授
 - ・「壮年期における野菜摂取状況に影響を与える生活習慣および食行動・食態度について」
大学院健康科学研究科 廣田直子教授

1月31日(月) メール審議

- ①下記の2件の申請について審議し、いずれも継続審議とすることを確認した。
- ・「高校生における社会的達成目標が学校適応を予測する過程の検討：感情経験に着目して」
教育学部学校教育学科 海沼亮専任講師
 - ・「高校生における欲求支援行動と学習動機づけとの関連：制御焦点に着目して」
教育学部学校教育学科 海沼亮専任講師

3月15日(火) メール審議

- ①下記の1件の申請について審議し、条件付き承認することを確認した。
- ・「労働者の身体活動量、座位行動、及び持久性体力と相互の関連性に関する研究」
大学院健康科学研究科 根本賢一教授

2) 委員会 事業・活動

特別なものはなし。

(4) 動物実験部会

1) 部会開催

3月22日(火) メール会議

- ①下記の4件の申請について審議し、承認することを確認した。
- ・「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」 大学院健康科学研究科 山田一哉教授
 - ・「生化学実験(健康栄養学科2年生後期)」 大学院健康科学研究科 山田一哉教授
 - ・「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム解明」 大学院健康科学研究科 河野史倫教授
 - ・「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」
大学院健康科学研究科 高木勝広教授

2) 部会 事業・活動

5月19日(水)

- ・動物慰霊祭を開催した。

4月19日(月)

- ・大学院生、スポーツ健康学科学生を対象に教育訓練を実施した。

9月28日(火)

- ・健康栄養学科学生を対象に教育訓練を実施した。

(5) 遺伝子組換え実験安全管理部会

1) 部会開催

3月22日(火) メール会議

1) 下記の4件の申請について審議し、承認することを確認した。

- ・「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」 大学院健康科学研究科 山田一哉教授
- ・「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」 大学院健康科学研究科 河野史倫教授
- ・「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」 大学院健康科学研究科 高木勝広教授
- ・「酵母の形質転換」 大学院健康科学研究科 高木勝広教授

2) 部会 事業・活動

特別なものはなし。

(6) 地域防災科学研究所

本研究所は、本学が過去10年間にわたり取り組んできた防災活動および、その後の地域防災対策委員会などが取り組んできた下記のような活動を踏まえ、社会科学的な防災・減災に関する研究と実践を通して地域社会に貢献することを目的に、2021年度第7回全学協議会(11月24日開催)において規定が制定され、専任教員1名が配置されたことをもって正式に発足した。今年度の活動は以下のとおりである。

①防災教育拡充に向けた準備

2022年度から、総合経営学部観光ホスピタリティ学科に配置される防災関連科目の一部について、全学科の学生が履修可能となることから、クラス編制や各科目の詳細な内容やクラス編制等を検討した。

②地域防災の体制づくり

松本市島内・里山辺・新村・安曇の4地区における地域防災の体制づくりに関わった。具体的には、各町会長をはじめ各町会の防災責任者等を対象とした学習会、あるいは防災訓練の実地視察、および防災関連の各種会合への参加等を行った。

③長野県地域防災推進協議会の運営

長野県の防災士を中心とした組織である長野県地域防災推進協議会(2019年発足)の事務局として、協議会の役員会と連携して防災士の能力向上および、会員による地域貢献活動をサポートするための活動を行った。

- ・総会 5月21日(金)
- ・役員会 4月9日(金)・6月29日(火)・10月14日(木)
- ・研修会 6月13日(日)(オンライン)
 - 基調講演 演題：「超高齢化社会の到来と火災安全の課題」
講師：関澤 愛氏(松本大学地域防災科学研究所特任教授)
 - 事例報告 演題：「被災地を見つめて」
報告者：佐藤 勝氏(信濃毎日新聞長野本社報道部記者)

・ミニ研修会(オンライン)

第1回 7月14日(水)

テーマ：「災害対策基本法(令和3年度の改正)について」

講師：木村晴壽(松本大学地域防災科学研究所所長)

第2回 10月20日(水)

テーマ：「もう一つの法改正、個別避難計画についての議論」

講師：尻無浜博幸(松本大学地域防災科学研究所副所長)

第3回 12月8日(水)

テーマ：「命を守るために～情報とリテラシー～」

講師：早川英治氏(長野県地域防災推進協議会副会長／NBS長野放送編成局長／元ニュースキャスター・報道部長)

- ・会報発行 10月20日(水)

・講師派遣 3件の予定があったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

④防災士養成研修講座の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画はしたものの実施できなかった。

⑤松本大学BCP(事業継続計画：Business Continuity Plan)の策定

災害時にも活動を継続するための「松本大学BCP(仮称)」の策定に着手した。

4. 地域連携部門

(1) 地域連携委員会

1) 委員会開催

第1回 8月2日(月)

【審議事項】

- ①山形村との包括連携協定に基づく取組みについて
- ②2021年度地域連携活動経費申請について

【報告事項】

各委員会報告

- ①地域づくり考房『ゆめ』運営委員会
- ②地域健康支援ステーション運営委員会
- ③高大連携推進委員会
- ④地域力創造委員会

第2回 10月19日(火)

【審議事項】

- ①「本学と長野銀行との間における包括連携に関する協定」について

第3回 3月10日(木)

【審議事項】

- ①2022年度地域連携活動経費予算の承認
- ②地域健康支援ステーション専門員の採用人事について
- ③公開講座での取扱いについて
- ④新型コロナウイルス感染症に伴う地域連携活動基準の見直しについて

【報告事項】

各委員会報告

(2) 地域力創造委員会

1) 委員会開催

第1回 4月23日(金)9:40~10:20

【審議事項】

- ・2021年度公開講座新規申請について

下記の申請書が提出され、本委員会で審議した結果、承認された。

7月19日(月)13:30~(3時限目)、「地域に貢献する企業(経営)・人材とは何か」(仮題)、申請者：兼村智也教授(総合経営学部・総合経営学科)

- ・2021年度の活動について

2021年度予定されている公開講座、今後の地域貢献活動のあり方について提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

第2回 メール審議 11月2日(火)

【審議依頼】

- ・2022年度公開講座経費申請について

2022年度公開講座経費申請について、内容等をメール審議した結果、異議なく承認された。

申請締切、専任教員への通知方法、また審査および予算額(委員会案)までの流れも合わせて確認した。

第3回 メール審議 12月10日(金)

【審議依頼】

- ・2021年度公開講座申請書変更案について

人間健康学部スポーツ健康学科山本薫准教授より、本年度実施予定であった講座が、コロナ禍のため実施が困難となったため計画を変更し、次の公開講座を行いたいとの申し出があった。審議の結果、異議なく承認された。

変更内容は以下の通りである。

変更前：「筋力アップでますます元気！マシンを使った実践講座(9回コース)」

変更後：「動脈硬化予防・改善のための講話と運動実践(講義編と運動実践編)2日間に分けて開催」(1日目：講義・測定、2日目：運動実践)

第4回 メール審議 2022年3月8日(火)

【審議依頼】

- ・2022年度公開講座経費予算の承認について

2022年度公開講座申請書の内容(3件)についてメール審議を行った。審議の結果、委員長が提示した当初予算案は異議なく、すべて承認された。

2) 事業・活動

特になし。

(3) 地域健康支援ステーション運営委員会

管理栄養士と健康指導士を専任スタッフとして配置し、地域住民や企業・自治体等からの要請に応じて栄養指導、運動指導や体力測定などの活動を、栄養と運動の両面からアプローチする健康づくりの支援活動を行っている。

1) 組織と会議

- ①組織：運営委員長1名(スポーツ健康学科) 委員6名(スポーツ健康学科、総合経営学科・観光ホスピタリティ学科・学校教育学科、商学科から各1名) 事務局7名
- ②運営委員会：5回 5月18日、7月27日(メール審議)、1月14日、2月8日(メール審議)、3月11日(メール審議)

2) 地域貢献事業活動

地域などからの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(管理栄養士、運動指導士)が実施した活動。

- ①「林業作業士(フォレストワーカー)1年目集合研修」講師 7月7日
(依頼元：長野県林業労働財団、対象者42名)
- ②「トレーニングマシンを使用した健康運動教室」講師
4月2日・9日・16日・23日、5月7日・14日・21日・28日、6月4日・11日・18日・25日、7月2日・9日・16日・30日、8月6日・13日・20日・27日、9月3日・10日・17日、10月1日・8日・15日・22日・29日、11月5日・12日・19日・26日、12月3日・10日・17日、1月7日・14日・21日・28日、2月4日・18日・25日、3月4日・11日・18日・25日
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、参加者延べ294名)
- ③「健康サポート教室」講師
4月7日・21日・28日、5月12日・19日・26日、6月2日・16日・23日、7月7日・14日・21日、8月4日・18日・25日、9月15日・29日、10月6日・13日・27日、11月10日・17日・24日、12月8日・15日・22日、1月5日・12日・19日、2月2日・16日、3月2日・16日・23日
(依頼元：エア・ウォーター東日本(株)甲信越支社 梓水苑、参加者延べ321名)
- ④「あかしや しっかり食べて運動しよう」講師
4月5日、7月5日・19日、10月11日、11月8日、12月6日
(依頼元：医療法人芳州会村井病院自立訓練(生活訓練)事業所あかしや、参加者延べ88名)
- ⑤「安曇野市豊科高家アルプス区健康体操教室」講師

5月11日

(依頼元：アルプス区健康推進委員、参加者延べ23名)

⑥「神田町会ウォーキング講座」講師

6月20日

(依頼元：神田町会、参加者延べ24名)

⑦「介護予防講座(家でも気軽にフレイル予防、年を重ねても食べて元気に過ごそう)」講師

10月30日、11月27日

(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、参加者延べ38名)

3) 松大ヘルスプロモーション事業活動

①「安曇野市自転車実証実験」体力測定、運動・栄養指導

4月10日・17日、5月8日・15日、6月19日・22日、7月13日・17日、8月3日・7日、9月21日・23日、11月7日・14日

(依頼元：安曇野市政策経営課、参加者延べ178名)

②「安曇野市介護予防事業ステップアップ教室」体力測定、運動指導

10月4日・11日・18日・25日、11月1日・8日・15日・29日、12月6日・13日・20日・27日

③「松本市体力健診事業 からだチェック」体力測定・運動指導

7月28日、8月19日、9月1日・11日・22日・30日、10月20日・30日、11月6日・13日・15日・18日・30日、12月1日・4日・11日・15日・17日・25日、1月14日・15日・26日

(依頼元：松本市健康づくり課、参加者延べ397名)

④「原村 TAGFITNESS」体力測定、運動講座、栄養講座

6月24日・25日、7月12日・29日、10月6日・18日・28日・29日、12月8日、22月21日、3月8日・9日

(依頼元：原村保健福祉課医療給付係、参加者延べ133名)

⑤「(株)ホンダカーズ信州」体力測定

5月10日・12日・13日・14日・17日・19日

(依頼元：(株)ホンダカーズ信州、対象者延べ138名)

⑥「ヨコタインターナショナル(株)」体力測定

5月20日・21日

(依頼元：(株)ホンダカーズ信州、対象者延べ54名)

⑦「高木建設株式会社 従業員」体力測定

7月7日・8日

(依頼元：高木建設株式会社、対象者76名)

⑧「松本市立病院人間ドックオプションサービス・アクティブドック」体力測定、運動指導

5月13日、6月16日、7月14日・15日・29日、9月15日、10月7日・20日・21日・27日・28日、11月11日・25日、12月2日・9日、1月19日・27日、2月2日、3月9日・16日・30日

(依頼元：エア・ウォーター東日本(株)甲信越支社 梓水苑、対象者延べ31名)

⑨「出張型特定保健指導」実施

9月8日

(依頼元：株式会社池の平ホテル&リゾート、対象者9名)

⑩「出張型特定保健指導 合同デモンストレーション、出張型体力測定」実施

11月4日・5日

(依頼元：池の平ホテル&リゾート、対象者延べ20名)

⑪「太陽工業株式会社 体力測定デモンストレーション」実施

1月11日

(依頼元：太陽工業株式会社、参加者7名)

4) その他

- ①栄養指導アプリ作成
- ②「自宅でできる健康づくり」動画配信
- ③「健康経営ライブオンセミナー」大塚製薬との共催

5) 広報活動

- ①「蒼穹」第143、144、145号への原稿執筆
- ②「健康づくり事業財団発行 健康づくり8月号(No.520)」への掲載

(4) 地域づくり考房『ゆめ』運営委員会

1) 考房『ゆめ』利用促進事業

- ①講義内での考房『ゆめ』およびプロジェクトの紹介
4月16日(金)・5月12日(水)「基礎ゼミナール(人間健康学部)」各ゼミナール担当教員
4月20日(火)「基礎ゼミナール(総合経営学部)、(松商短期大学部)」各ゼミナール担当教員
- ②学生企画による「ゆめカフェ」開催
11月24日(水)～26日(金)
- ③Twitter、Instagram、YouTube
ONE TEAMプロジェクトや学生プロジェクト等の活動の様子を各種SNSにて情報発信
- ④地域連携事業利用実績

年間受入件数	年間参加件数	年間延参加人数
9件	6件	19人

※考房『ゆめ』事務局を通じて参加した件数

2) 学生と地域との連携による社会貢献活動コーディネート事業

- ①学生の自主企画による活動
地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象プロジェクト(6プロジェクト…具体的内容は後述の「(3)考房『ゆめ』自主事業3)2021年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度」参照)
- ②地域とのパートナーシップ事業(4プロジェクト)
4月～：「すすはなプロジェクト」(学生、すすき川花火大会実行委員会)
花火大会開催地区の歴史調査およびアンケート調査、広報の方法について会議、Twitter及びInstagramの運用
4月～：「松本BBS会」(学生、社会人会員、保護司会等)
更生保護研修、更生支援活動への参画。
4月～：「松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと」(学生、市民団体サンタ・プロジェクト・まつもと)
ククリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る活動への参画。
4月～：「茶房『ひといき』」(学生、新村地区住民等)
新村地区地域住民と学生の居場所となるサロンの共同運営および常連の方との手紙を通じた交流。

3) 考房『ゆめ』自主事業

- ①ONE TEAMプロジェクト
「地域を知る」ことを目的とし、5～12月にかけて8回実施
・第1回「地域ビジネスに活かす農業」 5月22日(土)
協力者：田中浩二さん(榑かまくらや)
佐々木清夫さん(四賀地区住民)

松本市社会福祉協議会四賀地区センター

石井康介さん(株石井味噌)

参加者：3名(学生0名、職員3名)※新型コロナウイルス感染症拡大のため職員のみとなった。

・第2回「地域に生きる人々から学ぶ」 6月19日(土)

協力者：梶原啓さん、梶原知子さん(四賀梶原農園)

市川恵一さん(四賀文化財保護協会会長)

参加者：11名(学生7名、教職員4名)

・第3回「地元野菜の魅力と人の繋がり」 7月3日(土)

協力者：梶原啓さん、梶原知子さん(四賀梶原農園)

田中まゆみさん(sabouしが)

参加者：13名(学生11名、教職員2名)

・第4回「栄村小滝集落の魅力を探る」 7月17日(土)

協力者：中澤謙吾さん(苗場山麓ジオパーク認定ガイド)

吉田理史さん(栄村小滝集落住民)

参加者：18名(学生16名、教職員2名)

・第5回「収穫から学ぶ農業ビジネス」 9月25日(土)

協力者：田中浩二さん(株かまくらや)

佐々木清夫さん(四賀地区住民)

松本市社会福祉協議会四賀地区センター

参加者：2名(学生0名、教職員2名)※新型コロナウイルス感染症拡大のため教職員のみとなった。

・第6回「食といのちを考える」 11月27日(土)

協力者：小池晃さん(長野県南安曇農業高校)

田中浩二さん(株かまくらや)

石井康介さん(株石井味噌)

佐々木清夫さん(四賀地区住民)

参加者：18名(学生14名、教職員4名)

・第7回「いのちと平和を考える」 12月4日(土)

協力者：手塚英男さん(元中央図書館長)

中野和朗さん(松本大学初代学長)

丸山盛榮さん、柳澤敏志さん(新村地区住民)

佐々木清夫さん(四賀地区住民)

参加者：16名(学生12名、職員4名)

・第8回「地域の福祉を学ぶ」 12月18日(土)

協力者：松本市社会福祉協議会四賀地区センター

参加者：12名(学生10名、教職員2名)

4) 2021年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度

前期審査会：5月18日(火)～24日(月)実施(審査期間内にプレゼン動画を視聴審査)

応募プロジェクト：6 認定プロジェクト：6

①ええじゃん栄村(50,000円)

栄村の地域活性化へ協力、村民との交流を深めて魅力を広めていく。

②◎いただきます!!(40,000円)

食を通じて地域住民および子どもとの交流を行い、食について学ぶ機会を作る。

③あるぷすタウン(70,000円)

子どもたちが社会の仕組みを学び、地元地域に興味をもってもらう機会を作る。

- ④松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと(11,000円)
クリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る。
- ⑤茶房「ひといき」(71,000円)
新村地区内で地域住民と学生の居場所となるサロンを地域住民と共同運営する。
- ⑥すすはなプロジェクト(25,000円)
すすき川周辺地域の歴史を学び、地域住民へアンケート調査を行う。
報告会：新型コロナウイルスによる感染防止対策のためTeamsを使用しオンラインにて開催。
- ①ええじゃん栄村(交付奨励金額50,000円 決算額559円)
・栄村小滝地区に訪問し、震災から復興までの軌跡を学んだ他、地域住民の方々との交流を通して、地域づくりについて学びを深めた。
- ②◎いただきます!!(交付奨励金額40,000円 決算額3,600円)
・考案した親子でつくれる簡単な料理をレシピ集にした。
- ③あるぷすタウン(交付奨励金額70,000円 決算額6,000円)
・新型コロナウイルスによる感染防止対策のため開催できなかったが、開催準備を進める中で松本地域ならではの職業への依頼も考えた。
- ④松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと(交付奨励金額11,000円 決算額5,013円)
・サンタ・プロジェクトの歴史を学び、オンラインでのサンタサミットにも参加した。
・本の購入者(市民サンタ)へ贈るサンタクロス認定証のデザインを考案した。
・本を届ける際に使用する贈呈箱を手作りし、本と併せて寄贈した。
- ⑤茶房「ひといき」(交付奨励金額71,000円 決算額18,120円)
・地域住民と学生の居場所として共同運営した。
・常連の方との文通による交流をした。
- ⑥すすはなプロジェクト(交付奨励金額25,000円 決算額24,997円)
・筑摩地域の歴史を学び、花火大会の経緯や位置づけを学んだ。
・すすき川花火大会周辺地域でアンケート調査を行い、花火大会へのニーズをまとめた。

5) センター組織の整備充実

①各種会議開催

- ・運営委員会：年2回
- ・リーダー会議：年3回

②広報関係

a) 大学の発行物

- ・考房『ゆめ』発行物
ゆめ通信 第48号(9/22発行)・第49号(3/18発行)計2回
松本大学地域づくり考房『ゆめ』2021年度活動報告書
壁新聞第1号(学生プロジェクト「ゆめ」編集)
- ・学内発行物
蒼穹(第143号～第146号)
- ・ウェブサイト・SNS
ゆめHP、Twitter、Instagram、YouTubeによる情報発信

b) メディア関係

- ・新聞
信濃毎日新聞 11月26日(金) 松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと
12月5日(日) ONE TEAMプロジェクト
12月9日(木) ONE TEAMプロジェクト

MGプレス	4月1日(木)	茶房「みずゞ屋」
市民タイムス	6月15日(火)	茶房「ひといき」
	11月26日(金)	松本大学サント・プロジェクト・まつもと
	12月6日(月)	ONE TEAMプロジェクト
	1月5日(水)	あるぷすタウン
	2月17日(木)	こどもあそび隊・キッズスポーツスクール
月刊イクジィ	4月号～2022年3月号	
		こどもあそび隊・キッズスポーツスクールによる「おうち遊び」の紹介記事他

(5) 高大連携推進委員会

1) 委員会運営

本委員会の構成は例年と変わらず、総合経営、人間健康、教育の3学部および松商短大から6名の教員が委員となり、管理課に事務局を置き運営された。高大連携の取り組みは学部・学科毎に目的や方法が異なることや意思決定の迅速化の観点から、各事業は各学部・学科において委員を中心に主体的に取り組むことを前提として、事前事後において委員会全体としての情報の共有化を図った。当年度の連携事業は、昨年度と同様、総合経営学部においては県内商業高校を中心としたデパートサミット事業と飯田OIDE長姫高校・飯田市との地域人教育事業、人間健康学部スポーツ健康学科は岡谷東高校との連携事業、松商短大は穂高商業高校との連携事業が予定された。また、新規事業として人間健康学部健康栄養学科の高校野球部への年間を通じた栄養サポート活動が予定された。なお、委員会としての活動は、昨年度と同様に、主として情報交換を主としたメール会議を適宜開催し、必要な場合には学部を超えた相互支援を行う体制をとった。

2) 活動内容

本年度の活動は、蔓延する新型コロナウイルスの感染防止の観点から、一部活動については休止あるいは中止を余儀なくされ、また実施された多くの活動においても規模縮小あるいはオンラインにより行われた。

①総合経営学部

総合経営学部では今年度、以下のとおりの取り組みを行った。

a) デパートサミット(マーケティング塾・デパートゆにっと)

デパートサミット事業は、長野県商業教育研究会が主催し、松本大学が共催して2013(平成25)年度より実施している県内の商業高校を中心とした高校生の人材育成事業であり、毎月1回松本大学において開催される「マーケティング塾」とその成果を検証する合同販売会の「デパートゆにっと」によって構成されている。今年度は、コロナ禍における本学の活動レベルに添う形で、オンラインあるいは対面で実施された。

〈第9期 2020年12月～2021年10月〉

第1回2020年12月19日(土)、第2回2021年2月11日(木)、第3回2021年3月13日(土)、第4回2021年4月17日(土)、第5回2021年5月22日(土)、第6回2021年6月5日(土)、第7回2021年7月17日(土)、第8回2021年8月7日(土)にマーケティング塾をオンラインで開催した。参加校は、穂高商業、長野商業、諏訪実業、赤穂、上田千曲、小諸商業であり、各回約40名の高校生が参加した。なお、デパートユニットは当初2021年8月28日・29日に予定されていたが、コロナ禍で延期となり、2021年11月6日・7日に井上百貨店本店催事場にて感染防止対策を講じながら開催された。

〈第10期 2021年12月～2022年10月〉

第1回2021年12月25日(土)、第2回2022年2月11日(金)、第3回2022年3月12日(土)をオンラインでマーケティング塾を開催した。参加校は、穂高商業、長野商業、諏訪実業、赤穂の各高校であり、各回40名前後の高校生が参加した。

〈バレンタインスイーツ販売 2022年2月〉

例年通りの計画で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から昨年度に引き続き今年度も中止となった。

b)地域人教育

「地域人教育」は、2012(平成24)年度から飯田長姫高校(現飯田OIDE長姫高校)が開始した地域社会に貢献できる「人財」を育成することを目指し、高校生が地域理解を深め、地域での生き方を考え、郷土愛を育む教育プログラムであり、2012年度に飯田長姫高校(当時)、飯田市、松本大学による「地域人教育の推進に向けての3者の連携協定」を締結し実施している。

1年次は大学教員や地域の専門家による飯田の歴史や地域資源に関する講義と街中を歩いて地域の魅力や課題を把握する「フィールドスタディ」を通じた「地域を知る」、2年次は地域のイベントへの参加や商品開発、情報発信を行う「地域で活動する」、3年次はグループごとに地域課題について地域と連携して解決に取り組む「地域の課題解決に向けて行動する」という3年間で8単位、280時間の正課のカリキュラムによって構成されている。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、例年実施してきた松本市街地におけるフィールドワークを中止し、飯田OIDE長姫高校において、4月9日(金)地域人教育授業ガイダンス、8月26日(木)3年生地区別研究実践活動へのアドバイス、12月22日(水)地域人教育成果発表会講評を行い、4月6日(火)(同校)および2月18日(金)(オンライン)に地域人教育推進委員会に本学担当教員が出席した。

②人間健康学部健康栄養学科

健康栄養学科では、2010年度から県内の複数の高校野球部(松本深志高校、諏訪清陵高校、他7校)において年間栄養サポートを実施してきた。その内容は、試合期あるいはトレーニング期に合わせた栄養指導や捕食サポート、食事調査等で、対象は野球部員とその保護者など約300人である。今年度からは高大連携事業として認められ、5月9日(日)、7月16日(金)、7月19日(月)、12月11日(土)に木曽青峰高校において約20名に対して、また、12月19日(日)には田川高校で約20名に対して実施した。

③人間健康学部スポーツ健康学科

スポーツ健康学科では、2007(平成19)年度に岡谷東高校との連携についての話し合いが行われ、翌年6月には試行的に、高校生が大学の講義を受講し、同年12月に正式に人間健康学部スポーツ健康学科と岡谷東高校との連携協定が締結され、本格的な連携事業がスタートした。試行的な活動も含めれば、今年度は13年目の活動となった。具体的には、年2回同校1・2年生が本学を訪れ、模擬講義の受講およびキャンパスライフ体験を通じて、大学での「学び」や「生活」について理解する「大学授業チャレンジ型連携」と、本学科の学生が岡谷東高校を訪問し、同校の保健体育の授業に参加し、研修を通して高校教育現場を実体験する「教員実務参加型プログラム」がある。

今年度は、コロナ禍の影響から、「チャレンジ型」については7月1日(木)に本学において、9月10日(金)にオンラインで各半日の実施となった。参加生徒は1年生28名、2年生26名であった。また「教員実務参加型プログラム」については中止となった。

④松商短期大学部

a)大学授業チャレンジ型連携

高校の夏休み、春休みを利用して、本学教員の教育資源を活用した大学の経済・ビジネス系等の専門科目の受講および学食利用、教室移動等の具体的なキャンパスライフの疑似体験を通して、高校生の勉学意欲および進学意欲の高揚を図ることを狙いとした連携である。

今年度は8月23日(月)から25日(水)の3日間、3月16日(水)から18日(金)の3日間、新型コロナウイルス感染症の影響でいずれもオンラインでの実施となり、穂高商業高校2年生約60名が参加した。

b)高校授業グレードアップ型連携

穂高商業高校においてすでに日商2級レベルに達している3年生を対象として、本学教員2名が同校に週1回出向いて日商簿記検定1級レベルの「会計学」「原価計算」の講義を行う取り組みであり、高いレベルの学習への意欲促進を狙った連携である。

今年度は新型コロナウイルスの影響で休止となった。

5. 学生センター部門

A：教育活動支援

(1) 全学教務委員会（構成員：委員8名、事務局11名 計19名）

各学部選出委員および教務課職員を構成員とする全学教務委員会は、短期大学部も含めた教学に関わる学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関である。日常的には教務関連事項の円滑かつ適切な運営に力を注ぎつつ、教学を巡る学内外の動向を的確に捉え、その充実に必要な諸課題を把握し対応に努めること、および各種報告事項についても適宜取り扱い、情報の全学的共有を図るべく努めている。

今年度(2021年度)もまた、日常的な教務関連事項の円滑な推進に取り組むとともに、それに伴って生じた諸課題について慎重に審議・決定することを中心に、各種報告事項についても適宜・適切に周知を図るべく努めた。なお、前年度と同様、今年度(2021年度)についても、新型コロナウイルス感染症への対応に多くの時間を割かざるを得ず、オンライン授業(Teams)の展開、新型コロナワクチン接種時への対応などといった例年とは異なる大きな課題を解決すべく検討を重ねた。

以下、1)今年度実施した事業・活動、①全学的に共通する教学関連事項の検討・決定、②次期認証評価および私立大学等改革総合支援事業への対応、③テーマ別教学関連事項、④その他日常業務の4点に整理して、今年度の事業・活動状況の概略について記述する。また2)委員会開催として、年間を通して開催された各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を挙げておく。

1) 今年度実施した事業・活動

①全学的に共通する教学関連事項の検討・決定

(新型コロナウイルス感染症関連)

- ・これまでの経験を踏まえながら、松本大学活動制限指針の活動制限レベルに応じた形で、教学的課題について検討、決定した。具体的には、履修申請のスケジュール、教室収容率50%を前提とした教室の再割り当て、履修希望者が教室収容率50%を超過した場合の抽選、オンライン授業(Teams)の展開、実験・実習系科目の対応、定期試験の実施方法などである。
- ・新型コロナワクチン接種時への対応として、授業時、定期試験時とに区分し、それぞれの取り扱いについて、検討、決定した。
- ・2022年度前期の授業形態、履修関係のスケジュールなどを検討し、その方向性を決定した。

(上記以外)

- ・履修規程、再試験の受験要件などを見直し、一部ルールの変更を行った。
- ・授業のクラスサイズ内規を見直し、一部ルールの変更を行った。また、それに伴う「履修者数制限希望申請書」の整備を行った。
- ・教育サポーター規程を見直し、一部ルールの変更を行った。
- ・兼任・兼任依頼に関する運用ルールについて、全学的な合意形成を図った。

②次期認証評価および私立大学等改革総合支援事業への対応

- ・認証評価への対応として、「学修成果の点検と評価、および改善とフィードバック」について、各学部に取り組みを促すと同時に、進捗状況の報告をしてもらい、全学的に情報共有を図った。
- ・上記に関連して、成績データの分析作業を進めた。
- ・認証評価のエビデンスとなる各種データなどについて整理を依頼し、次期認証評価に備えた。
- ・改革総合支援事業への対応として、SA、TAに関する運用マニュアルの作成状況を確認した。

③テーマ別教学関連事項

a)全学共通教養

- ・今年度(2021年度)から開始した新しいカリキュラムの運用状況を確認しながら、一部科目の配当年次の変更、科目担当者の変更、クラス体制の変更などの調整を行った。

b) キャリア教育

- ・今年度(2021年度)、初めて「インターンシップ」の単位認定がなされた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、履修希望者全員が受講できる状況にはなかったものの、着実な一歩を踏み出すことができた。

c) 学部・学科横断型教育(学修)プログラム

- ・「学部・学科横断型教育(学修)プログラム」について、2つのプログラム(公共政策教育プログラム、6次産業化マネジメントプログラム)の具体的な教育内容の検討及び決定を行った。
- ・2022年度から開始予定の上記プログラムの履修に関する申請方法、認定証の発行方法など諸手続きの決定を行った。

d) 「地域防災科学研究所」設置に伴う防災士科目の配置

- ・「地域防災科学研究所」の設置に伴い、全学的に防災士の資格取得が可能となるよう、観光ホスピタリティ学科で開講されている資格関連科目の配置(担当者、時間割など)の調整を行った。

e) 新・教学システムの導入準備

- ・2023年度に導入予定の教学システムの業者選定を進めた。

④ その他日常業務

- ・各種オリエンテーションの企画と実施
- ・プレイスメントテストの実施・分析
- ・教室収容率50%に対応した科目別座席表の作成・掲示
- ・欠席調査の実施
- ・期末授業アンケートの実施
- ・成績発表後の成績不審者に対する全学的対応の共有および指導記録の整理
- ・オフィスアワー実施記録の提出催促と整理
- ・次年度以降の年間予定表の調整
- ・次年度の各学部カリキュラムと時間割の情報交換および兼任依頼などに関する調整
- ・シラバスの点検作業
- ・転学部・転学科試験の実施

2) 委員会開催

第1回 4月26日(月)8:30~9:30 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2021年度の課題
- ②オンラインでの聴講申請
- ③『インターンシップ』の履修抹消

〔報告事項〕

- ①全学共通教養科目の履修状況
- ②欠席調査
- ③TOEIC対策講座
- ④2020年度卒業状況
- ⑤2021年度教務課体制
- ⑥2022年度、2023年度年間予定表
- ⑦アウトキャンパス申請

第2回 5月31日(月)16:50~18:50 欠席なし

〔審議事項〕

- ①認証評価への対応
- ②再試験の取り扱い

③「オフィスアワー実施記録」「学生指導実施記録」の提出

④2022年度、2023年度年間予定表

⑤クラスサイズに関する内規の見直し

⑥長野県次世代サポート課からの依頼

〔報告事項〕

①前期定期試験アンケート、および実施方法

②共通教養科目の課題

③プレイスメントテスト結果

④前期履修抹消

⑤適正な出欠管理

⑥その他

第3回 7月5日(月)16:50~18:50 欠席なし

〔審議事項〕

①履修規程の見直し

②クラスサイズ内規

③再試験の取り扱い

④2022年度、2023年度年間予定表

⑤2022年度共通教養のカリキュラム確認結果

⑥後期授業の開始に向けての検討

⑦後期履修スケジュール

⑧外部講師、サポーター依頼に関するガイドライン

⑨2022年度共通教養科目の時間割検討

⑩2021年度後期「日本国憲法」担当教員

⑪集中講義の履修抹消

⑫業務委託先との2022年度の契約

⑬就職支援ガイダンスの取り扱い

⑭新型コロナワクチン接種に伴う学生の体調不良への対応について

〔報告事項〕

①認証評価への対応状況報告

②長野県次世代サポート課からの依頼

③「学生便覧」「履修登録の手引き」のポリシー掲載内容

④WebClassの機能追加

⑤前期試験

⑥出欠登録・オフィスアワー実施記録の徹底

⑦欠席配慮願

⑧後期復学相談

⑨次年度準備

第4回 8月2日(月)16:50~18:35 欠席なし

〔審議事項〕

①クラスサイズ内規

②2022年度、2023年度年間予定表

③「文化人類学」配当年次変更

④後期履修スケジュール

⑤外部講師、サポーター依頼に関する規程案

⑥2022年度共通教養科目の時間割検討

⑦後期ワクチン接種当日および移動日の授業・試験欠席に対する扱い

⑧Zoomの授業目的の利用

⑨国際交流センター運営委員会からの依頼

⑩P・F評価を用いる授業の追加審議

〔報告事項〕

①履修規程の見直し

②後期履修案内

③次年度準備

④後期全学教務委員会日程

⑤その他

第5回 8月30日(月)16:50~18:20 欠席なし

〔審議事項〕

①2022年度、2023年度年間予定表

②外部講師、サポーター依頼に関する規程案

③後期の新型コロナワクチン接種当日および移動日の授業・試験欠席に対する扱い

④P・F評価を用いる授業の追加審議

⑤2022年度兼任依頼および各学部のカリキュラム検討状況

⑥「地域教育活動」「学校教育活動」の履修抹消

〔報告事項〕

①後期授業の実施方法

②再試験の取り扱い

③2021年度改革総合支援事業

④2022年度共通教養科目担当者

⑤後期Teamsのチームデータ作成

⑥2023年度新システム導入に向けての予定

⑦後期テキストの販売方法

⑧次年度準備

臨時開催(1) 9月1日(水)メール審議

〔審議事項〕

①インターンシップ(前期科目)について

第6回 9月27日(月)16:50~18:30 欠席なし

〔審議事項〕

①2022年度、2023年度年間予定表

②外部講師、サポーター依頼に関する規程案

③P・F評価を用いる授業の追加審議

④2020年度兼任依頼および共通教養科目の変更点の確認

⑤2022年度松本大学シラバス入稿の手引き

⑥教職科目の履修抹消

⑦学部・学科横断型教育(学修)プログラム

〔報告事項〕

①2022年度共通教養科目担当者

②2023年度新システム導入に向けての予定

③後期テキストの販売方法

④後期履修状況

⑤前期(2学期)期末授業アンケート結果

- ⑥「政治学」「行政キャリア論Ⅱ」
- ⑦教職課程履修者状況
- ⑧後期欠席調査
- ⑨2022年度各学部のカリキュラム案
- ⑩次年度準備

第7回 10月25日(月)16:50~18:45 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2022年度兼任依頼
- ②2022年度松本大学シラバス入稿の手引き
- ③学部・学科横断型教育(学修)プログラム
- ④転学部・転学科試験要項

〔報告事項〕

- ①サポーター規程、クラスサイズ内規の一部改正
- ②2022年度各学部のカリキュラム案および時間割案
- ③2023年度新システム導入に向けての予定
- ④再試験の取り扱い
- ⑤後期授業アンケート
- ⑥履修抹消状況
- ⑦2022年度以降のプレイスメントテストの検討
- ⑧2022年度共通教養科目担当者
- ⑨2021年度前期科目成績分析
- ⑩次年度準備

第8回 11月22日(月)16:50~18:30 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2022年度共通教養科目担当者
- ②2022年度兼任依頼
- ③2022年度松本大学シラバス入稿の手引き
- ④学部・学科横断型教育(学修)プログラム
- ⑤履修者数制限希望申請書
- ⑥2022年度資格取得奨励金
- ⑦2022年度授業形態
- ⑧2022年度以降のプレイスメントテストの検討

〔報告事項〕

- ①2022年度各学部のカリキュラム案および時間割案
- ②再試験の取り扱い
- ③カメラ連結教室の追加
- ④2022年度教務委員会スケジュール
- ⑤後期定期試験スケジュール
- ⑥第2回欠席調査
- ⑦次年度準備
- ⑧その他

臨時開催(2) 11月29日(月)メール審議

〔審議事項〕

- ①松本大学スチューデント・アシスタントに関する内規について

第9回 12月20日(月)16:50~18:50 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2022年度兼担依頼
- ②履修者数制限希望申請書
- ③2022年度資格取得奨励金
- ④2022年度授業形態
- ⑤2022年度以降のプレイスメントテストの検討
- ⑥2021年度補正予算・2022年度予算
- ⑦「地域防災科学研究所」設置に伴う防災士科目の配置
- ⑧海外留学希望学生について(教育学部)

〔報告事項〕

- ①2022年度各学部のカリキュラム案および時間割案
- ②数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度
- ③TOEIC 課外講座
- ④就職活動に伴う証明書の発行
- ⑤試験監督要領
- ⑥新システムへの移行に伴うLMS機能
- ⑦英語教育の取組み
- ⑧次年度準備
- ⑨認証評価への対応について

第10回 1月24日(月)16:50~18:45 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2022年度授業形態
- ②学部・学科横断型教育(学修)プログラム
- ③前期期間中に本学以外で新型コロナウイルスワクチン接種を受ける学生への対応
- ④兼担依頼に関するルール検討
- ⑤新入生への面談の実施依頼
- ⑥資格検定試験について

〔報告事項〕

- ①2022年度予算
- ②2022年度「数学の基礎」の開講
- ③「地域防災科学研究所」設置に伴う防災士科目の配置
- ④2022年度各学部のカリキュラム案および時間割案
- ⑤2022年度カリキュラムツリー・履修モデル
- ⑥数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度
- ⑦復学相談
- ⑧2022年度シラバス点検
- ⑨授業アンケート
- ⑩成績不振者の全学的な対応および指導記録・OH実施記録
- ⑪適正な出席管理
- ⑫転学部・転学科試験
- ⑬次年度準備
- ⑭その他

第11回 2022年2月21日(月)16:50~18:00 欠席なし

〔審議事項〕

- ①前期期間中に新型コロナワクチン接種を受ける学生への対応

- ②兼担依頼に関するルール検討
- ③新入生への面談の実施依頼
- ④前期授業のレベルに応じた実施方法
- ⑤前期開講までの履修関係日程

〔報告事項〕

- ①授業目的公衆送信保証金制度サートラス報告書の提出
- ②新入生・在学生オリエンテーション
- ③2021年度に作成したTeamsのチーム削除
- ④他学科免許履修支援プログラムの履修許可者(教職センター)
- ⑤学習成果の点検と評価、および改善とフィードバック
- ⑥次年度準備

3) 基礎教育センター（構成員：教員7名・センター専門員4名、事務局員2名 計13名）

基礎教育センターは、4名の専門員と1名の事務局員が常駐し業務を行っていることから、その円滑な遂行のために「スタッフ会議」と称する打合せと調整を主たる内容とする会議を設け、専門員による授業補助や各種課題の実施希望および提出・返却方法について確認するなど、各学部・学科との円滑な関係の確保に努めた。

2020年度に引き続き、2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、大学入構が制限された。「いつでも 誰でも 気軽に立ち寄り 共に学び 教えあう」を基礎教育センターの標語とし、個人に対するリメディアル教育を中心として取り組んでいるが、「気軽に立ち寄り 教えあう」ことが難しい状況もあった。基礎教育センター朝の学習講座(9時～9時30分)は対面とMicrosoft Teamsを利用したオンライン講座の併用をし、前期・後期ともに70回実施した。オンライン授業と朝の学習講座は親和性が高く、最も多い受講者数を記録した2020年度に引き続き、2021年度も延べ1,712名(学部生1,513名、短大生199名)が受講票を提出した。

朝の学習講座以外の実績としては、各学部・学科から依頼のあった授業：3講座、プリント・テスト作成：5件、課題の作成・回収・返却：春期5・入学前5・夏期5(単位は学部または学科または学年)となっている。以下にスタッフ会議の内容を記述しておく。

基礎教育センタースタッフ会議

第1回 6月24日(木)

〔審議事項〕

- ①基礎教育センター専門員の学外業務について
- ②全学就職委員会からのSPI対策への要望について

〔報告事項〕

- ①朝の学習講座について
- ②今年度の基礎教育センターの関わる授業、告知について
- ③基礎教育センターの課題について
- ④意見交換(WebClass アンケート結果について)

第2回 2月4日(金)

〔審議事項〕

- ①基礎教育センター専門員の学内における非常勤講師と学外業務について(2022年度)
- ②次年度「朝の学習講座」実施方法について

〔報告事項〕

- ①朝の学習講座、センター利用について
2021年度の利用人数についての報告。

- ・朝の学習講座(月曜：英語、火・水曜：数学、木曜：社会、金曜：国語)
前期 70回 学部 930名 短大 122名(対面とMicrosoft Teams併用で実施)
後期 70回 学部 583名 短大 77名
- ・来室人数4月～1/31まで 学部 186名 短大 37名
- ③今年度の基礎教育センターの関わった授業、課題について
授業：3件、プリント・テキスト作成：5件、課題：夏期5件・春期5件・入学前5件
- ③来年度の確認について
来年度の授業サポート・課題についての確認。
- ④意見交換(学生の基礎学力や授業での要望等について)

(2) 公務員試験対策講座運営委員会 (構成員：教員5名・事務職員7名 合計12名)

本委員会は教員5名(委員長1名、各学部1名、短大部1名)と事務職員7名によって構成されており、公務員を目指す学生を支援することを目的に、(株)東京リーガルマインド(LEC)と提携した公務員試験対策講座(以下、「対策講座」という)を開講し、その円滑な運営が行えるように活動を行っている。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったが、オンライン授業との併用を積極的に利用した結果、本対策講座は計画どおりに実施できた。ただし、受講者数は昨年度と比較して20%近く減少しており、その対策審議も含めて2回の委員会を開催し、日常的に(株)LEC東京リーガルマインド担当者と密なミーティングを行って意思疎通を図り、学生の学力向上と公務員試験合格のために活動を行った。以下、1)委員会開催と、2)事業・活動として報告する。

1) 委員会開催

第1回 6月10日(木)(メールによる委員会開催)

[報告事項]

- ①2021年度公務員対策講座受験者数について

第2回 12月15日(水) 13:30～14:00

[審議事項]

- ①次年度の講座編成について

[報告事項]

- ①2021年度公務員試験対策講座受講者数と運営について
- ②公務員採用試験状況について
- ③公務員試験合格者インタビュー実施について
- ④学部学科横断型教育プログラムについて

2) 事業活動

①公務員試験ガイダンス

受講者の募集に関しては、昨年度は対面でのガイダンスが実施できなかったのに対し、今年度は、新入生向けのオリエンテーションでの説明に続き、4月12日～16日の1週間、昼休みを利用して対面とオンラインのハイブリッドの形式での説明会を実施した。

②(株)東京リーガルマインド(LEC)と提携した公務員試験対策講座

受講者数に関しては、昨年度と比較すると183名から147名へと36名の減少(約20%減)となった。一昨年度以前と比較すると同程度の人数ではあるが、次年度へ向けての対策が必要な点だと考えられる。

対策講座の実施に関しては、正課授業と同様の形でオンライン授業のみ、または対面授業とオンライン授業のハイブリッドでの実施により、表1に示すとおり、当初の計画通り実施できた。

2019年度より講座の一環として位置付けた個人面談や面接対策についても引き続き実施し、昨年度はコロナ禍の影響で実施回数がかかなり減少していたが、今年度の個人面談は延べ182名(2020年度68名、2019年

度228名)、面接対策は延べ89名(2020年度50名、2019年度60名)の受講者が利用し、昨年度と比較して大きく増加した。

費用に関しては、受講者数の大幅な減少のため、受講料収入が合計で5,827,000円(当初見積もり6,891,000円、2020年度実績5,896,000円)と当初見積もりよりも100万円近く減少し、昨年度実績と同程度の収入となった。支出は8,199,400円(当初見積もり8,571,200円、2020年度実績6,987,200円)と昨年度実績よりも約100万円増加しているが、昨年度はWeb講座の切り替えによる講座単価の減額で約100万円支出が下がったことが原因である。当初見積もりと比較すると40万円弱減少しているが、これは個人面接・面談費用が見積もり時の予想より減少したことと教材送料の必要がなかったためである。結果として、差額の2,372,400円(当初見積もり1,680,200円、2020年度実績1,091,200円)が大学負担となった。

表1 2021年度に実施した公務員試験対策講座

講座名	開講期間(※)	対象学部・学年	コマ数
SPI・公務員入門	前期4/13～6/22、後期9/28～12/7	学部1年	21
教養講座〈基礎〉	前期4/16～7/30、後期9/24～2/7	学部2年・短大1年	45
教養講座〈発展〉	前期4/15～7/29、後期9/30～2/25	学部3年	45
専門対策講座	前期4/14～9/15、後期9/29～2/10	学部3年	40
直前対策講座	前期4/12～8/24	短大2年	25
直前対策講座	前期2/25～4/9	学部4年	40
合計			147

(3) 全学教職センター運営委員会

1) 会議開催

【全学】

- ・全学教職センター運営委員会〈全7回〉
4/20(火)、5/25(火)、9/14(火)、11/25(木)、12/20(月)～12/22(水)メール審議、1/12(水)、3/22(火)～3/31(木)メール審議
- ・教職センター連絡会〈全1回〉
9/2(木)

【総合経営学部・人間健康学部】

- ・教職センタースタッフ会議〈全12回〉
4/8(木)、5/6(木)、6/3(木)、7/1(木)、8/24(火)、9/2(木)、10/5(火)、11/3(水)、12/1(水)、1/5(水)、2/4(金)、3/2(水)
- ・総経・人間教職センター会議〈全3回〉
9/9(木)、12/17(金)、2/9(水)～2/14(月)メール審議

【教育学部】

- ・教育学部教職センター会議〈全13回〉
4/7(水)、5/10(月)、6/2(水)、7/7(水)、8/4(水)、8/18(水)、9/14(火)、10/6(水)、11/3(水)、12/1(水)、1/5(水)、2/8(火)、3/3(木)
- ・学校ボランティア活動担当者会議〈全3回〉
4/7(水)、5/25(火)、3/1(火)
- ・学校インターンシップ科目担当者会議〈全2回〉
6/17(木)、12/14(火)
- ・特別支援教育科目担当者会議〈全11回〉

4/20(火)、5/18(火)、6/29(火)、7/27(火)、9/9(木)、10/6(水)、11/16(火)、12/23(木)、1/26(水)、2/16(水)、3/9(水)

・教育学部次年度カリキュラム打合せ

9/21(火)

・教育学部新カリキュラム作成WG〈全2回〉

2/16(水)、3/23(水)

・教採対策WG〈全3回〉

9/7(火)、10/27(水)、2/28(月)

2) 教員免許状更新講習

・2020年度の更新講習の実施内容はP. 165のとおり。

なお、開講を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった講習もあった。

3) 2021年度 公立学校教員採用試験結果

【現役生】

・総合経営学部・人間健康学部

長野県 小学校 1名 山梨県 小学校 1名 新潟県 小学校 1名
山梨県 中学校(社会) 1名 北海道 中学校(社会) 1名

以上 総合経営学部2名、人間健康学部3名 合格

・教育学部

長野県 小学校 11名 長野県 中学校(英語) 1名 新潟県 小学校 5名
岐阜県 小学校 2名 石川県 小学校 1名 北海道 小学校 2名

以上 教育学部22名 合格

【卒業生】

・総合経営学部・人間健康学部

長野県 小学校 4名 長野県中学校(保健体育) 1名 長野県 特別支援学校 3名
長野県 養護教諭 1名 長野県高等学校(保健体育) 1名 新潟県 養護教諭 1名
山梨県 特別支援学校 1名

以上 12名合格

・教育学部

長野県 小学校 2名 長野県 特別支援学校 2名 新潟県 小学校 1名
相模原市 小学校 1名 山梨県 小学校 1名

以上 7名合格

4) 教員免許状取得数

校種	教科	総経	観光	栄養	スポーツ	学校	大学院	計
小学校		1(※1)		7(※1)	62		70	1(※1)
中学校	社会		4			1(※1)		5
	保健体育				14			14
	保健				2			2
	英語					6 1(※1)		7
高校	公民		3					3
	地理歴史		4					4
	情報	1						1
	商業	2						2
	保健体育				14			14
	保健				2			2
	英語						6	6
養護教諭					5		5	
栄養教諭				7			7	
特別支援(知・肢・病)						19		19
計		3	12	7	44	95		161

※1…二種免

5) 教育実習実施者数

学部	学科	3年人数	4年人数
総合経営	総合経営		2
	観光ホスピタリティ		6
人間健康	健康栄養		19
	スポーツ健康		8
教育	学校教育	60	28
計		85	58

6) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

- 5月22日(土) 第40回全国私立大学教職課程協会研究大会【オンライン】(山崎)
- 6月26日(土) 京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会オンライン研修会(田嶋・河合)
- 7月18日(日) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2021年度研究部総会、第1回研究部会、第1回研究懇話会【オンライン】(山崎)
- 8月23日(月) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第8部会第2回例会【オンライン】(山崎)
- 9月25日(土) 第1回関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 北部地域協議会【オンライン】(山崎)
- 10月2日(土) 京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会教員免許事務勉強会【オンライン】(田嶋)
- 10月8日(金) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 教職課程自己点検評価基準説明会【オンライン】(山崎)

崎・河合)

- 10月11日(月) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第8部会第3回例会【オンライン】(山崎)
- 11月11日(木) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第2部会2021年度第3回研究会【オンライン】(山崎)
- 11月27日(土) 全国私立大学教職課程協会 2021年度教職課程運営に関する研究交流集会【オンライン】(山崎)
- 12月4日(土) 京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会第3回教員免許事務勉強会【オンライン】(田嶋・河合)
- 12月11日(土) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2021年度第2回研究懇話会【オンライン】(山崎)
- 12月19日(日) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第2部会2021年度第4回研究会【オンライン】(山崎)
- 2月17日(木) 第2回関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 北部地域協議会【オンライン】(山崎)
- 3月23日(水) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第2部会2021年度第5回研究会【オンライン】(山崎)
- 3月24日(木) 全国私立大学教職課程協会「教員免許更新制の発展的解消以後の教員研修と私立大学の課題」オンライン懇談会(山崎)

7) 教職センター活動

【全学及び総経・人間教職センター関係】

- 4月14日(水) 介護等体験ガイダンス①(3年生)
- 4月15日(木) 3年生教職ガイダンス
- 4月16日(金)～ 教員免許状更新講習第1クール受付開始
- 4月22日(木) 4年生教育実習ガイダンス
- 4月26日(月)～ 教職課程履修者面接
- 4月28日(水) 教員免許状更新講習教員説明会【オンライン】
- 4月30日(金) 地域科学研究会高等教育情報センター セミナー参加(山崎・田嶋)
- 5月10日(月)～ 2021年度教育実習開始(4年生)
- 5月10日(月)～ 2022年度教員採用試験 自己学習(新型コロナウイルス感染症学内活動制限レベルの引き上げに伴い実施)
- 5月26日(水) 上越教育大学大学院大学推薦説明会【オンライン】
- 6月9日(水) 松本市立高綱中学校 連携協定締結(山崎)
- 6月16日(水) 介護等体験ガイダンス②(3年生)
- 6月19日(土) 教員免許状更新講習 講習開始(新型コロナウイルスの影響により、開始時期延長)
- 6月29日(火) 1年生教職ガイダンス(総経・観光・栄養)
- 6月30日(水) 松本市立高綱中学校 連携協定の覚書締結(征矢野・山崎)
- 7月1日(木) 特別支援学校における介護等体験開始
- 7月2日(金) 1年生教職ガイダンス(スポーツ)
- 7月10日(土)・11日(日) 長野県教員採用試験第一次選考
- 7月12日(月) 社会福祉施設における介護等体験開始
- 7月16日(金)～ 教員免許状更新講習第2クール受付開始
- 7月22日(木) 教員採用試験第一次選考報告会
- 8月3日(火) 長野県教員採用試験第一次選考合格発表
- 8月7日(土) 教員採用試験第二次選考対策講座
- 8月8日(日) 第1回梓友会開催【オンライン】(参加者/卒業生16名・教職員14名)
- 9月10日(金) 1～4年生 後期オリエンテーション 教職センターガイダンス【オンライン】

- 9月10日(金) 令和3年度教職課程認定基準等の改正に関する事務担当者説明会参加【オンライン】(田嶋・河合)
- 10月1日(金) 長野県教員採用試験第二次選考合格発表
- 10月8日(金) 1年生教職履修指導・履修計画
- 10月10日(日)～ 教育実践改善賞応募開始
- 10月20日(水) 長野県教育委員会教員免許年度末一括申請説明会参加(田嶋・河合)
- 10月21日(木) 先輩教諭による教育実習事前指導(3年生)
- 10月28日(木) 教員免許一括申請説明会(4年生)
- 10月29日(金) 長野県教育委員会教員免許状更新講習に関する関係者打合せ会議参加【オンライン】(山崎・田嶋・河合)
- 11月4日(木) 外部講師(時事通信出版部)による教採対策講座【オンライン】
- 11月9日(火)・16日(火) 2021年度臨採講師希望者名簿の配布・説明(佐藤・矢野口)
- 11月11日(木)・18日(木)・25日(木) 教育実習報告会(3～4年生)
- 12月4日(土) 東京アカデミー 教採模試
- 12月6日(月) 他学科免許履修支援プログラム説明会開催(1年生)
- 12月13日(月) 明星大学通信教育部免許取得支援プログラム説明会開催(1年生)
- 12月17日(金) 令和3年度教職課程認定等に関する事務担当者説明会参加【オンライン】(田嶋・河合)
- 12月23日(木) 教育実習前CBT試験(3年生)
- 1月8日(土) 第2回梓友会(参加者/卒業生16名・学生2名・教職員20名)
- 1月13日(木) 教採報告会(1～4年生)
- 1月21日(金) 履修カルテ説明会(1年生)
- 1月24日(月)～ 教職科目シラバスチェック
- 1月31日(月) 明星大学免許取得支援プログラム手続き説明会【オンライン】(1年生)
- 2月12日(土) 大学教務実践研究会 教員免許事務担当者研究会参加【オンライン】(田嶋)
- 2月21日(月) 時事通信出版局 教採模試
- 3月3日(木) 赴任直前講座【オンライン】
- 3月15日(火)～3月17日(木) 東京アカデミー 集中講座【オンライン】
- 3月23日(水) 新年度オリエンテーション(総合経営)新2年生・新4年生【オンライン】
- 3月24日(木) 新年度オリエンテーション(人間健康)新2年生・新4年生【オンライン】
- 3月25日(金) 新年度オリエンテーション(総経・人間)新3年生【対面】
- 3月28日(月) 教採1日対策講座

【教育学部】ガイダンス

- 4月6日(火) 1年生新入生オリエンテーション教職ガイダンス
- 4月14日(水) 1年生教職ガイダンス
- 4月14日(水) 初等教育実習事前・事後指導
- 4月21日(水) 1年生教職ガイダンス
- 4月28日(水) 1年生教職ガイダンス
- 5月26日(水) 上越教育大学大学院大学推薦説明会【オンライン】
- 6月9日(水) 1年生教職ガイダンス
- 6月16日(水) 1年生学校ボランティア活動ガイダンス
- 6月24日(木) 2年生学校インターンシップガイダンス
- 7月7日(水) 1年生学校ボランティア活動ガイダンス
- 7月8日(木) 2年生学校インターンシップ事前指導
- 7月12日(月) 4年生教職ガイダンス
- 7月10日(土)・11日(日) 長野県教員採用試験第一次選考

- 7月14日(水) 1年生学校インターンシップガイダンス
- 7月15日(木) 2年生学校インターンシップ事前指導
- 7月21日(水) 2021年度初等教育実習報告会(前期)
- 7月21日(水) 1年生教職履修カルテ説明会
- 7月28日(水) 教員採用試験一次選考報告会
- 7月28日(水) 2年生教職履修カルテ説明会
- 8月5日(木) 1年生履修ガイダンス
- 8月6日(金) 2年生履修ガイダンス
- 9月21日(火) 1・2年生後期オリエンテーション教職センターガイダンス
- 9月29日(水) 4年生ガイダンス講義
- 10月8日(金) 教職自己点検評価基準説明会
- 10月20日(水) 1年生履修コース説明会
- 10月27日(水) 1年生学校インターンシップIガイダンス
- 11月4日(木) 外部講師(時事通信出版局)による教採対策講座【オンライン】
- 11月10日(水) 1年生学校インターンシップIガイダンス
- 11月24日(水) 教員免許年度末一括申請説明会
- 12月8日(水) 1年生ガイダンス講義(履修コース申請直前説明会)
- 12月8日(水) 4年生教員免許年度末一括申請手続き
- 12月15日(水) 1年生東京アカデミー教採模試
- 12月22日(水) 1年生東京アカデミー教採模試
- 1月5日(水) 1年生学校インターンシップIガイダンス
- 1月6日(木) 2~3年生初等教育実習事前・事後指導(先輩教諭による講話)
- 1月19日(水) 1年生ガイダンス講義(教職履修カルテ説明会)
- 3月3日(木) 赴任直前講座【オンライン】
- 3月23日(水) 新年度オリエンテーション 新4年生【オンライン】
- 3月24日(木) 新年度オリエンテーション 新2年生
- 3月25日(金) 新年度オリエンテーション 新3年生

【教育学部】訪問・依頼・説明

- 4月12日(月) 安曇野市教育委員会 訪問(征矢野・矢野口)
- 4月13日(火) 安曇野市校長会 出席(秋田・矢野口)
- 4月13日(火) 松本市教育委員会 訪問(山崎・征矢野・河合)
- 4月15日(木) 長野市教育委員会 訪問(岸田・秋田)
- 4月16日(金) 特別支援学校校長会 出席(岸田・矢野口)
- 4月16日(金) 塩尻市教育委員会 訪問(征矢野・高山)
- 4月19日(月) 松本市校長会 出席(澤柳)
- 4月20日(火) 塩筑校長会 出席(征矢野・高山)
- 5月14日(金) 長野県寿台養護学校 訪問(矢野口)
- 6月9日(水) 松本市立高綱中学校 訪問(征矢野)
- 8月18日(水) 教師のための相談サポート事業 訪問(樋口)
- 9月3日(金) 塩尻市立桔梗小学校 訪問(征矢野)
- 10月27日(水) 松本養護学校 出席(矢野口)
- 11月9日(火) 信濃教育会館 出席(矢野口)
- 11月26日(金) 安曇野市教育委員会 訪問(征矢野・河合)
- 12月3日(金) 松本市教育委員会 訪問(征矢野・河合)
- 12月10日(金) 塩尻市教育委員会 訪問(征矢野・河合)

- 12月14日(火) 長野県寿台養護学校 訪問(矢野口)
- 12月17日(金) 長野県寿台養護学校 訪問(矢野口)
- 12月17日(金) 長野市教育委員会 訪問(岸田・河合)
- 1月5日(水) 長野県教育委員会 訪問(矢野口)
- 1月31日(月) 諏訪市校長会 出席※資料郵送のみ
- 2月1日(火) 長野市校長会 出席※資料郵送のみ
- 2月14日(月) 松本市校長会 出席(征矢野・澤柳)
- 2月14日(月) 塩筑校長会 出席(澤柿・高山)
- 2月14日(月) 安曇野市校長会 訪問(佐藤・澤柳)
- 3月24日(木) 長野県庁 訪問(矢野口)

【教育学部】その他

- 7月1日(木)～ 2年生介護等体験開始
- 5月17日(月)～ 3年生初等教育実習参観訪問開始
- 5月10日(月)～ 4年生特別支援学校教育実習参観訪問開始
- 1月31日(月)～ 1年生次年度学校インターンシップ内諾訪問開始(郵送)

(4) 情報センター運営委員会

情報センターでは、主に研究・教育へのICT支援、情報機器の維持・管理、セキュリティ対策といった3つの業務を担い実施してきた。

①研究・教育へのICT支援

オンライン授業環境の支援、ソフトウェアライセンスの見直しと管理、オリエンテーション実施

②情報機器の維持・管理

ネットワーク、サーバ類の維持管理、教職員PCの管理、貸出ノートPCの管理

③セキュリティ対策

防御システムの維持管理、組織的な体制の整備と運営

情報センターの業務方針を定めている運営委員会は、メール審議を含め5月、6月、7月、10月、11月、12月の計6回開催された。委員会では上記3つの業務に関わる事項について議論した。以下に、これらについて報告する。また、2021年度も新型コロナウイルス感染対策としてのオンライン講義における技術的なサポートを行った。

①オンライン講義環境の支援

新型コロナウイルス感染対策としてTeamsを活用したオンライン講義が定着したが、一方でZoomを利用したオンラインの講義や会議を行う事例も見受けられるようになった。そこで、アンケートを実施して利用状況を確認したところ、講義の他にも様々な形で利用していることが判明した。利用目的によっては本学が支援するのが良いと判断できるものがあることから、最大300名がアクセスできる有料ライセンスを20ライセンス導入し、8月から一次貸出しのサービスを開始した。

また、全学生および教職員が利用しているMicrosoft365のライセンスについて見直しを行った。現行のライセンスでは、利用者個々がインストールメディアによるPCへのインストールも可能であったが、最近はこのようなケースがないことや、セキュリティの向上が期待できることから、オンラインでのインストールのみとする別の契約形態に移行することとした。なお、これによって年間ライセンス料金について約500万円削減できることとなった。

②ネットワーク環境の改善

オンライン講義の円滑な実施を支援するため、学内外のネットワーク環境の見直しを行った。学内環境としては、老朽化に伴う5号館全館のLAN配線と6号館1、2階のWi-Fi AP機器のリプレースを行った。また、体育館やグラウンドでのWi-Fi利用の要望を受け、教務課窓口でWi-Fiルータを貸し出しする形で対応する

こととした。

Wi-Fiの学生利用に関しては、5GHz帯を用いる学内システムに対応しない端末を所持している学生が若干名存在していることが確認された。また、学生の申請時に使用機器等を確認することで、学生の使用端末に関する実態を把握することができた。

学外ネットワーク環境の改善策については、学外接続回線を2022年5月よりSINET6に接続し上流への帯域を大幅に拡げることを決め、契約手続きを進めることとなった。これにより、現行の1Gbpsの上流帯域が遅くとも2023年度内には10倍に拡張することになり、大幅な改善が期待できる。また、学園全体の基幹ネットワークの構成についてソリューション企業のアドバイスを参考に最善の接続構成を検討した。障害時の復旧方法が最大の焦点となったが、復旧までに15分程かかるものの、1Gbpsの別回線に自動切り替えが可能なシステムを導入することで費用対効果が期待できる構成にまとめることができた。

③サイバーセキュリティ対策

文部科学省より要求され2021年度から検討を続けてきた「サイバーセキュリティ対策基本計画の作成」、「サイバーセキュリティ対策推進のための組織・体制の整備」、「情報セキュリティポリシーおよび手順書の策定」の3点について最終的なとりまとめを行った。これにより、学園全体や本学内において情報セキュリティインシデントが発生した際の具体的な対応方法や、発生したインシデントのレベルに応じた報告先や対応策が円滑に行われることが期待できる。

④その他

2021年度のPC教室のリプレイスは332教室を対象に実施した。他に、211、212、321PC教室の復元システムをリプレイスし、7PC教室すべての復元環境を同一化することができた。また、その関連としてOfficeを2016から2019にアップデートした。

PC教室で利用するアプリケーションの管理について、最近ではフリーソフトウェアの割合が増え、管理が煩雑化しつつあったため、整理を行った。

教員が持ち込んだルータを研究室の有線LANに接続したことから、意図しないDHCPサーバが稼働してしまい4号館でネットワーク障害が発生した事例が発生した。今後も起き得る可能性があることから、注意喚起を行った。

今年度は、学外上位システムの異常や学内のネットワーク工事によるネットワーク障害が発生し講義に影響が出るという事例があったが、前年度に発生したような学外からの攻撃による回線障害は起きなかった。

キャリアセンターの職員がチーム内にアップしたWordの資料に、学生が個人情報を書き込み上書き保存したため、チーム内の学生が閲覧できる状態になっていたという事例があった。学生がデータを作成することができない「クラスの資料」にデータをアップすることを改めて周知した。

(5) 図書館運営委員会

1) 組織

総合経営学部教員2名、人間健康学部教員2名、教育学部教員1名、短期大学部教員1名(館長兼務)、事務局2名・業務委託先職員7名

2) 委員会開催

5月13日(木) 16:50~17:45 オンライン会議

- ①新型コロナウイルス感染症への図書館の対応について報告された。
- ②2020年度利用統計、2021年度活動計画が報告された。
- ③教員の延滞について、図書館から個別に返却を促す措置をとること、紛失の場合は弁償してもらうことを確認した。
- ④2021年度前期学科別学生図書の選定について、メールにて依頼することが報告された。

7月29日(木) オンライン会議

- ①新型コロナウイルス感染症対策について、現在までの図書館の対応が報告された。

- ②図書館所蔵雑誌等の見直しについて、各教員に調査票をメールで配信する方式で8月に実施することが報告された。大学院設置に向けていくつかの希望が寄せられていることが報告された。
- ③信州ブックサーチへの加盟に向けて手続きを進めていることが報告された。
- ④4月～6月の活動および統計報告がなされた。
学生の図書館利用促進の必要性について意見が挙げられた。

11月2日(火)13:30～14:05

- ①2022年度図書館雑誌およびデータベース等の継続・新規購入について、承認された。また、大学院総合経営研究科開設に伴って購入予定の雑誌およびデータベースが報告された。
- ②禁帯出図書について、他機関が導入している事例について紹介され、導入の検討が提案された。
- ③新型コロナウイルス感染症対策について、現在までの図書館の対応が報告された。
- ④7月～9月の活動および統計報告がなされた。
- ⑤後期学科別学生用図書選定について、取りまとめの依頼がなされた。
- ⑥読書月間について、展示および企画内容、図書館サークル同好会が協力していることが報告された。また、読書月間実施の効果の有無について質問が挙げられ、明確な効果を示すことはできないが、図書館利用を促進するきっかけになっていることが報告され、今後の利用促進について意見交換を行った。
- ⑦クリスマスイベントについて検討中であることが報告された。
- ⑧卒論用貸出について、貸出冊数を5冊から7冊にすることが報告された。

2月3日(木)13:30～14:20 オンライン会議

- ①オーバーナイトローンについて、新年度より開始する準備を進めていることが報告された。また、ワンデーローンについては授業のコマ単位で禁帯出資料の貸出を行うが、可否については個別の状況判断とすることが報告された。
- ②新型コロナウイルス感染症対策について、現在の図書館の対応が報告された。また、オンラインサービスを強化したことが報告された。
- ③10月～1月の活動および統計報告がなされた。
- ④読書月間について、展示中の内容と貸出状況が報告された。また、リサイクル図書市は今後常設にすることが報告された。
- ⑤今後の予定について、春休み中に除籍作業、紀要の再配架、新年度の準備などを行うことが報告された。
- ⑥複数の委員から、図書館のレファレンス利用を促進する必要性が挙げられた。特に卒業論文作成に際してレファレンスを利用することは有効であり、学生へ周知したいと意見が述べられた。

3) 事業・活動内容

- ①図書館運営・サービスの方針および計画の審議
- ②図書館利用の促進
- ③学科別図書の選定、および取りまとめ
- ④雑誌・データベースの購読・契約に関する審議

4) 図書館サービス・図書館利用促進業務

①2021年度利用実績

開館日数	延べ利用者数	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料閲覧
166日	31,309人	4,659人	8,882冊	92人

②図書館オリエンテーション・ガイダンス

- ・新入生図書館オリエンテーション：4月6日(火)・7日(水)
- ・短大1年オリエンテーション：4月20日(火)4限(オンラインで実施)
- ・在学生図書館オリエンテーション：3月(WebClassへ資料掲載)

- ・図書館ガイダンス：各自問題を解いて館内を回る体験型のガイダンスを実施

[教育1年]水曜1限(ガイダンス講義)

4月14日・4月21日 図書館での資料の探し方・OPACの使い方説明+ガイダンス

[総経1年]火曜2限(基礎ゼミⅠ)

6月15日 兼村・古川、6月22日 佐藤・岡崎

[司書課程1年]月曜5限(図書館概論)

6月21日 図書館概論(伊東先生)受講生(館内案内)

[短大1年]水曜2限(専門ゼミⅠ)

6月30日 糸井・飯塚・小澤、7月7日 伊東・金子・川島・木下

7月14日 浜崎・中村・中山・廣瀬、7月21日 山添・矢野口

[スポーツ1年]水曜4限(基礎ゼミⅡ)

10月20日 等々力・熊谷・根本、10月27日 中島弘・齊藤

11月03日 河野・新井・中島節

③新型コロナウイルス感染症活動制限レベルに対応した開館時間

レベル	開館時間 (共通)	閉館時間(通常時)		閉館時間(長期休業中)	
		平日	土曜	平日	土曜
1	9:00	20:30	17:00	19:00	17:00
2	9:00	19:00	17:00	19:00	17:00
3	9:00	19:00	休館	17:00	休館
4	9:00	17:00	休館	17:00	休館
5・6	閉館	閉館	休館	閉館	休館

*レベル5・6の館内利用は、授業等の状況による

④データベース関連

2021年度利用の有料データベースおよびEジャーナル

①国立情報学研究所データベース、②JDreamⅢ、③医中誌web、④メディカルオンライン、⑤信濃毎日新聞記事検索、⑥第一法規法情報、⑦ジャパンナレッジLib、⑧日経テレコン、⑨日経NEEDS-FinancialQUEST、⑩Gale Academic One File、⑪Eジャーナル(14タイトル、2パッケージ)

新型コロナウイルス感染症対応として一部データベース、電子書籍について外部アクセスの設定を依頼。

⑤学外者利用サービス提供

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学外者の利用サービスは停止した。

⑥図書の充実・整理

2021年度受入図書数

図 書		ビデオ	CD	DVD	デジタル資料
和：3,909	洋：573	0	0	79	0
全：4,482					

和雑誌	洋雑誌
455	33

⑦蔵書点検

8月23日(月)～27日(金) 2021年度点検対象資料：図書館配架の和書、洋書、視聴覚資料
作業期間中は閉館とした。

⑧学生利用促進企画

a)「松本大学図書館活動制限指針〈新型コロナウイルス感染症対応〉」の見直しを行い、活動制限レベルに

応じて開館時間の短縮、郵送貸出、返却期限の延長、電話やメールでの対応、視聴覚コーナーの利用制限等を継続。閲覧席の飛沫シート、アクリル板の設置も継続した。新規事項としては、レファレンスとリクエストのオンラインサービスの強化、OPACによる情報発信の強化を図った。

b) 新入生にOPAC仮パスワードをメール配信：4月6日(火)

c) 授業サポート

[対面]+[オンライン]併用

- ・人間健康学部1年：6月29日(火)2限「第11回情報倫理と文章表現」
- ・教育学部1年：6月29日(火)4限「第11回情報倫理と文章表現」
- ・人間健康学部1年：7月27日(火)2限「第15回情報倫理と文章表現」
- ・教育学部1年：7月27日(火)4限「第15回情報倫理と文章表現」

[オンライン]

教育学部1年：10月13日(水)1限「レポートの書き方講座」

[動画配信]

新入生向けにメール配信：6月8日(火)「レポートの書き方講座」

d) 県内8短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」第43号～46号発行

県内8短大の学生・教職員・司書が毎号テーマに沿ったおすすめ本を紹介する。図書館サークル同好会に原稿作成を依頼した。

e) 11月1日(月)～30日(火)『最後の頁を閉じた、違う私がいた』

- ・学生・教職員による本の紹介「みんなの推し本」
- ・展示：i)「科学の名著」
ii)「不思議な本」
- ・企画：i) 謎解きゲーム 参加者62名、クリア者39名(12月24日(金)まで実施)
ii) リサイクル図書市 除籍した資料を学生、教職員に無料で譲渡
iii) あわてんぼうのクリスマスツリー

Fツリーの搬入、飾り付けを図書館サークル同好会メンバーで行った。

f) 卒論貸出

- ・図書の貸出期間を1カ月とし、1回貸出延長可。雑誌の貸出期間は2週間。
- ・貸出冊数は通常の貸出冊数とは別に7冊まで、利用申請は随時受付。
申請者37名(総経：兼村ゼミ2名、室谷ゼミ・古川ゼミ・佐藤ゼミ各1名、観光：向井ゼミ・畑井ゼミ各1名、栄養：平田ゼミ・木藤ゼミ・福島ゼミ・長谷川ゼミ各1名、スポーツ：岩間ゼミ5名、根本ゼミ1名、教育：大石ゼミ2名、岸田ゼミ・羽田ゼミ・濱田ゼミ・小林ゼミ・藤原ゼミ・佐藤ゼミ、樋口ゼミ各1名、短大：中山ゼミ・糸井ゼミ各5名、小澤ゼミ1名)図書111冊・雑誌11冊貸出

g) 延滞者督促メール配信、督促状配布

新型コロナウイルス感染症対応により返却期限を延長したため、1カ月以上延滞者への督促は該当者の居ない月があった。2カ月以上長期延滞者は、年間を通して督促メールを配信。ゼミ担当による督促状手渡しは7月、11月、1月の3回実施。2回以上行っても返却がなかった学生には実家へ送付。既卒者の督促は5月に実家宛に送付した。

h) 本の展示

就活関連、直木賞・芥川賞受賞作、本屋大賞、守先生の紹介する本(DOHC)、戦争を知る、書評キャンペーン、なぜなのかの本、SNSはバズってもトラブルな、図書館サークル同好会による展示、県内図書館推薦図書等。

i) ブクログに企画展示の様子が分かるよう、一部の本を登録した。

j) ライブラリーコンサート：12月23日(木)

図書館サークル同好会主催でライブラリーコンサートを実施。

k) リサイクル図書コーナー

読書月間の企画として実施したりサイクル図書市を12月よりコーナー常設とした。除籍された図書を定期的に入替、廃棄をする。

⑨図書館広報関係発行物

- ・図書館利用案内2021
- ・図書館だより No.62～65(学生向け)
- ・図書館要覧2021年度版

⑩信州共同リポジトリ

松本大学研究紀要第19号、地域総合研究第21号Part2、22号Part1・2、教育総合研究第5号をアップ
2021年度の閲覧回数：44,430回、論文等のダウンロード数94,170回
3月24日(木)：2021年度信州共同リポジトリ年度報告会(オンライン開催)

5) 資料・設備等の整備・管理業務

(1)資料の整備

- ①雑誌配架タイトル表示の修正、館内サインの修正をした。
- ②紀要再配架を行い、配架順は大学名で五十音順とした。本学の紀要、県内の紀要は別置とした。
- ③紀要電子化調査
機関リポジトリやWEB上で公開されているものを調査し、公開されているものは除籍した。
- ④レポート等課題調査・課題図書について、前期と後期に教員と非常勤講師への調査を行い、お知らせいただいた図書はコーナーに設置。
- ⑤シラバス掲載図書について、通年・前後期と色分けをした「シラバス」シールを貼付し配架。
- ⑥学科選定図書について、前期と後期で調査を実施し、通常配架とした。
- ⑦9類(文学)のラベル修正・貼替
著者記号をカタカナ採りに変更。併せて書誌データの見直しを行った。
- ⑧洋書コーナーのカビが発生した図書の拭き取り、除籍、本の移動、整架等
- ⑨パソコン関係別置コーナーの見直し、本の入替
- ⑩書庫にある雑誌の除籍
- ⑪蔵書見直し(特に3類、4類、新書の抜き取り、新版等の購入)
- ⑫図書の除籍(古い図書、カビが発生した洋書)
- ⑬就職コーナーについて、例年通りキャリアセンターと同資料を購入、配架。旧版はリサイクル図書コーナーに配架した。
- ⑭健康科学研究科博士課程1年次、総合経営研究科開設前年度の資料受入、装備、配架
- ⑮除籍雑誌の譲渡について、保存期間外の資料を教職員、学生に譲渡を行った。残った雑誌については一部をリサイクル図書コーナーに並べた。

(2)設備の新設・更新

- ①コロナ対策として座席の削減(使用させない座席については「使用不可」表示)、閲覧席に飛沫防止シート、アクリル板の設置を継続。カウンターの飛沫防止シートは撤去した。
- ②書庫の清掃
- ③館内入口車椅子用リフト部分壁、天井の修繕
- ④1階洋書コーナーの清掃、本の移動、整架。カビの発生を抑制するため、除湿剤設置、湿度管理の継続。
- ⑤入退館ゲート定期点検(年2回)：9月15日(水)・3月2日(水)
- ⑥防火シャッターの修繕工事：9月15日(水)
- ⑦洋書コーナーカビ菌検査：2月22日(火)
- ⑧グループ学習室の廃止、職員休憩スペースへ
- ⑨お手洗いに荷物置き場(カゴ)を設置
- ⑩館内ブラインド、1階雑誌架ハンドルの修繕

- ①1階キャレル席に足元ヒーター5台設置
- ②デスクトップPCについて、利用者用2台、各階検索用3台のバージョンアップ
- ③貸出ノートPC用のバージョンアップ、10台引き上げ(館内利用は10台)

6) 教職員サポート業務

①図書購入・図書費の管理

2021年度研究図書費実績

単位(円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
総合経営	総 経	521,414	726,323
	観 光	379,675	939,930
人間健康	栄 養	102,304	78,309
	スポーツ	120,128	532,681
教 育	教 育	512,985	922,243
短 大	商 学	44,022	471,746
	経 情	129,054	182,596
大学院健康科学研究科		423,193	724,722
合計		6,811,325	

職員図書費	105,382
-------	---------

②図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せほか実績

文献複写 (依頼)	文献複写 (受付)	相互貸借 (借受)	相互貸借 (貸出)	紹介状発行	国立国会図書館 デジタル化送信サービス
163	0	61	0	0	85

7) 総務的業務・他機関との連携

①調査等への回答

- 8月20日(金): 日本図書館協会・図書館調査票提出(データ送信)
- 10月25日(月): 朝日新聞出版社「大学ランキング」調査回答
- 11月2日(火): 文部科学省2021年度(令和3年)学術情報基盤実態調査—大学図書館編—回答

②規程類整備

「松本大学図書館運営委員会規程」制定。2021年4月1日施行。

③その他

長野県図書館協会副会長(館長)

6月3日(木)～15日(火): 令和3年度長野県図書館協会常務理事会・総会(書面決議)

11月6日(土): 第71回長野県図書館大会(オンライン参加)

長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会会長(館長)

8) 職員研修

①学外研修

- 9月9日(木): 長野県図書館協会大学専門図書館部会夏期研修会(オンライン開催)
- 9月28日(火): 図書館職員等ステップアップ研修(オンライン開催)田中課長、中村係長参加

11月5日(金): 第71回長野県図書館大会専門図書館部会分科会(オンライン開催)

12月7日(火): JDreamⅢオンラインセミナー(オンライン受講)

12月13日(月)~27日(月): 図書館等職員著作権実務講習会(オンライン受講)

3月22日(火): 長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会(オンライン開催)

9) その他

①松本大学古本募金

「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力(回収ボックスの設置、除籍本の寄付)。2021年度より、松本大学古本募金プロジェクトの活動で寄せられた募金は、学生のニーズを反映させた図書の購入に充てることになった。

②信州ブックサーチ

長野県内図書館横断検索サービス「信州ブックサーチ」への参加。長野県内の図書館の所蔵資料を一度に検索ができる。申込みがあった場合には、相互貸借に対応をする。

(6) 国際交流センター運営委員会

1) 委員会開催

2021年度の委員会は、4月、7月、11月、1月、3月の合計7回開催した。海外渡航が禁止されている中、新規留学生の受け入れや日本人学生の海外留学も少なく、国際交流活動が制限されており議題も限られていたため、メール審議による委員会も含み、およそ2ヵ月毎に開催した。構成委員は、教員7名、職員2名である。審議事項としては、私費留学生授業料減免審査、後期交換留学生の日本入国に関する状況報告、留学生スピーチコンテストや作文コンテスト、国際交流クラブ活動報告に加えて、フィリピン大学主催の国際研究発表会、インドネシアのプレジデント大学との教員交流、チェコ共和国パルドビツェ大学との国際交流計画について等、英語を活用した国際交流の話題が挙げられた。

2) 業務報告

①授業料減免審査

前期の留学生3名、後期4名の授業料減免審査を実施。本年度申請のあった留学生は、国際交流センター委員による面接による審査の結果、全員が授業料半額の減免対象となった。

②海外留学

2021年度、新たに海外留学を申請した本学の学生は無かった。

11月11日~12月14日の間、硬式野球部所属の学生1名がブラジル野球連盟会長からの依頼により、ユースパンアメリカ競技大会U-23に参加するため、ブラジル、コロンビアに滞在した。

新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航が禁止される中、2022年度よりオーストラリアニューカッスル大学に留学を希望する学生1名(教育学部所属)の渡航許可に関する審議が12月の全学運営会議で行われた。この審議では、外務省の感染危機情報レベルに基づき、感染レベル2以下の国や地域への1年間の留学を可とすること。協定校における受け入れ許可と入国時の隔離支援が整備されていること。今後も海外留学について文科省の通知内容に基づき実施を可とすることが決定された。

③外国人留学生 (5名)

本年度の松本大学および短期大学部への外国人留学生は合計5名であった。内訳は以下の通りである。

- ・総合経営学部総合経営学科2名、中国出身
- ・総合経営学部観光ホスピタリティ学科1名、中国出身
- ・大学院健康科学研究科1名、ドミニカ共和国出身(2020年12月~2023年3月)
- ・松商短期大学部1名、ベトナム出身

④交換留学生・科目等履修生 (7名)

2021年度の交換留学生は、本来12名を予定していたが、全てオンラインでの講義を受講した。台湾義

守大学3名、韓国東新大学4名である。嶺南師範学院の5名については後期の9月に入国を延期したものの、全てキャンセルとなった。

⑤松商短期大学の教員交流

嶺南師範学院との国際交流の一環として、松商短期大学部教員(糸井教授・山添教授)によるオンラインでの特別講義「簿記・会計」「世界経済論」「貿易商務論」(春期・秋期各30コマ)を提供した。

⑥留学生寮

2つある国際寮のうち、新村国際寮は木造建築後55年を経過し老朽化しており冬の暖房設備が不十分であることから、2021年9月に契約を解除し留学生は全員波田寮に移動した。

⑦日本語スピーチコンテスト、作文コンテスト

松本留学生応援ファミリーの会主催「第11回留学生日本語スピーチコンテスト」が7月11日Mウイング6階ホールで開催され、本学のエンシゲツさん(中国)が優勝した。また、松本ワイズメンズクラブ主催による日本語作文コンテスト「アジア賞」の授賞式があがたの森文化会館で12月11日に行われ、韓国東新大学からの交換留学生のキムチャンギュさんの作品が佳作に選ばれた。

⑧国際交流クラブ

国際交流クラブ主催の台湾義守大学と韓国東新大学とのオンラインでの学生交流会が開催された。海外留学がかなわない中、提携校の学生との日本語での近況報告がなされ、提携大学からの謝意が寄せられた。

⑨フィリピン大学観光学部主催国際研究発表会

10月16日に国立フィリピン大学観光学部主催の学生国際研究発表会で、松商短期大学の学生3グループと松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科の4年生1名が、オンラインによる英語での研究発表を行った。発表内容は、ジェンダーアイデンティティ、標識の課題、食事制限、責任ある公共交通であった。加えて、益山センター長が「観光再生に向けた日本の政策」に関する特別講演をオンラインで実施した。

⑩プレジデント大学(インドネシア)との教員交流

東洋観光株式会社(現アルピコホテルズ)からの依頼により、プレジデント大学へのオンライン講義提供の問い合わせがあり、教育学部のショーンマーメット先生に特別講義を依頼した。プレジデント大学では、全ての講義は英語で行われているため本学から提供できる講義は、英語教育に関する内容であることを打診した。その後、当該大学主催の国際研究発表会への参加に変更され、マーメット准教授に依頼した。

⑪日本私立大学協会国際交流委員会主催「令和3年度国際交流推進協議会」

9月16日、「国際交流事業の現況と課題」をメインテーマに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた大学の国際交流の現況と展望の政策課題に焦点を当てた、オンラインセミナーに益山センター長が参加した。外務省領事局海外法人安全課「海外における安全対策」、文部科学省高等教育局「留学生政策の現況と展望」、出入国在留管理庁「出入国管理行政の現状と取組」などの報告がなされた。

3) 活動報告

- 4月24日 長野県日中学術交流委員会主催「第25期日中関係を考える連続市民講座」に兼村智也教授が「米中対立の中での日中ビジネスの現状」の講演を実施。
- 7月7日 新村寮から波田寮への引っ越し作業実施、9月末に物件を返却。
- 7月11日 松本留学生応援ファミリーの会主催スピーチコンテスト参加。
- 8月3日 長野県日中学術交流委員会総会。
- 9月16日 令和3年度「国際交流推進協議会」オンライン協議会に参加。
- 10月16日 フィリピン大学観光学部主催オンライン研究発表会参加。
- 12月11日 アジア賞日本語作文コンテスト授賞式に益山センター長出席。
- 3月14日 韓国東新大学の交換留学生1名が日本入国、交換留学を開始。

(7) インターンシップ推進委員会

1) 委員会開催

①5月14日(金)

- ・キャリアセンターより資料に基づきマッチング案が示された。120名の申し込みに対し、GPA(短大生は就職委員による面談を実施)や居住地等を考慮しながらマッチングしたところ90名の学生をマッチングすることができ、審議の結果、異議なく承認された。なお、日清医療食品における営業向けプログラムの開拓、スポーツ健康学科の申込人数の増加について、次年度に向けた課題として共有された。
- ・キャリアセンターより資料に基づき松本山雅における長期インターンシップの概要が示された。5月末に説明会を行い、6月からエントリー開始というスケジュールで進めていくことが提案され、異議なく承認された。なお、学部2～3年生が対象であり、短大生は対象外であること、今年度は単位認定はしないものの補助金獲得に向けて今後検討していく必要があることなどが確認された。また、応募者が仮にいなかったとしても、企業自身が説明会を行うのであり、特段問題にはならないであろうことが確認された。

②8月18日(水)

- ・キャリアセンターより資料に基づき現状についての説明があり、すでにいくつかの企業・団体からインターンシップ受入中止の連絡が来ていること、一部の学生はすでに実習を終えているか現在実習中であることなどが報告された。そのうえで委員長より、松本圏域の新型コロナウイルス感染症感染警戒レベルが5に上がったことから本学の感染症対策レベルも上がり、本インターンシッププログラムは必修ではなく資格の取得等にも関連していないことなどから、本プログラムの中止が提案され、審議の結果異議なく承認された。なお、あらかじめオンラインでの実施を予定している企業については予定通り実施すること、それ以外の企業・団体についてもオンラインでの開催が可能かどうか確認することが併せて確認された。また、すでに実習を終えている学生については予定通り事後学習を行い単位認定を行うこと、現在実習中の学生については企業の承諾が得られ、学生本人が希望する場合には最後まで実習を行い、事後学習を行ったうえで単位認定を行うことが併せて確認された。加えて、実習に参加できなかった学生については教務課で履修取り消しを行うことが確認された。

③8月25日(水)

- ・キャリアセンターより、ツルヤのインターンシップに参加した学生について、指定された健康チェックを実施せずにインターンシップに参加していたため、企業からキャリアセンターへ苦情の連絡を受けたことなどが報告された。企業には直接訪問しての謝罪を申し出たものの断られたため、お詫びの品とおわび状を郵送したことが併せて報告された。続いて委員長より、当該学生への対応について、決められた手続きを行わずにインターンシップに参加していたことから単位認定要件を満たしていないものとし、単位を認定しないとの提案があり、審議の結果、異議なく承認された。なお、今後の再発防止策として、各教授会で改めて学生へのコロナ対策の徹底を促していただくことが要請された。
- ・キャリアセンターより、インターンシップの実施状況として、対面形式の中止に伴い、オンラインに切り替えて実施する企業はなかったこと、対面で14名が実施済みであること、もともとオンラインで実施予定の学生が7名であることが報告された。

④12月23日(木)

- ・キャリアセンターより、2021年度松本大学インターンシッププログラムの実績報告がなされた。当初21名がインターンシップに参加していたが、そのうち1名が受け入れ先企業での体調管理不徹底により、もう1名が事後研修の不参加により単位不認定となったため、最終的には19名が単位認定となったことが確認された。
- ・キャリアセンターより、上記19名の体験報告書、PPT資料を冊子にまとめた「2021年度松本大学インターンシッププログラム報告書」の一部が示され、内容について異議なく承認された。
- ・キャリアセンターより、2022年度松本大学インターンシッププログラムの年間予定案が示された。2022年度からの新たな事業として①企業向けパンフレットの作成、②企業向け説明会の実施、③授業内容の充実が挙げられ、異議なく承認された。宇都委員より今年度2名の学生が単位不認定となったことについて、

本学の代表として参加するという意識を説明会や授業の中で改めて持たせる必要があることが挙げられた。また、木下委員の指摘に基づき、短期大学部生の選考およびマッチングについては引き続きスケジュール上の配慮をしていくことが確認された。

- ・キャリアセンターより、企業側によりインターンシップの意義を理解してもらうためのパンフレットを作成中であることが報告された。現在印刷会社と相談しながら作成を進めているデザイン案や、来年1月中には納品予定であることが示され、異議なく承認された。
- ・キャリアセンターより、受入企業の新規開拓について、松本商工会議所との連携協定に基づき受入企業を紹介してもらう予定であることや、キャリアセンター職員の企業訪問の際に現在作成中の企業向けパンフレットを持参してもらい紹介してもらうことなどが提案され、異議なく承認された。

⑤3月30日(水)

- ・事務局より、2022年度松本大学インターンシッププログラムの受入企業について報告がなされ、意義なく承認された。受入企業・団体としては、市役所・福祉施設や県内一般企業を中心に2021年度と同規模の、約40社・合計104名の受入を表明いただいた。実施方法としては、原則対面で5日間(一部対面とオンラインのハイブリッド実施あり)。昨年度受入企業である株式会社ツルヤと株式会社ナガノトマトについては、新型コロナウイルスの感染状況やインターンシップ内容の見直しにより、2022年度の受入は見送りとなった。また、新たに丸勇青果と渡辺パイプが新規での受入を表明いただいたことが報告された。
- ・事務局より、2022年度松本大学インターンシッププログラムの実施スケジュールにつき、報告がなされ、意義なく承認された。

実施スケジュールについては、下記の通り。

【スケジュール】

◆4月

初回授業で募集要項、応募方法などを説明し、参加申込書を配布。

2週目授業は事前相談会とし、4月22日に応募締め切り。

◆5月3週目授業で学生にマッチング結果を発表。

マッチングに至らなかった学生については履修取り消し。

※代替科目の履修は不可

◆6~7月 事前研修

◆8~9月 夏季休暇中の5日間にインターンシップ参加

◆10月 事後研修

- ・12月度委員会で承認がなされたインターンシップの低学年化につき以下の通り議論がなされた。

【総合経営学部】

カリキュラム変更に伴う、旧カリキュラムの学生の扱いについて検討が必要。

→変更年は2年生、3年生を並行して実施する方法を企業と検討する。

就活としてのインターンシップと学校教育でのインターンシップの棲み分けも考えていく必要がある。

【人間健康学部】

健康栄養学科はアーリーエクスポージャーとして、1年次から管理栄養士が働く職場の見学に行っている。そのため、2年次でのインターンシップでは管理栄養士職とは別の職場での実施という棲み分けがあった方がよいのでは。

低学年化することで、企業側へのメリットが薄まるため、企業への説明も必要。

→企業への説明は今後課題として実施していく予定。先行して企業から取ったアンケートでは大多数の企業が低学年の受入を可能と回答。

【教育学部】

低学年化については異論なし。

【短期大学部】

実施時期について、短大生にとっては、入学直後から履修登録をすることとなるため、時期尚早との

意見もある。

また、今後企業向けに別途低学年化に関するアンケートを実施するよう委員長から事務局へ依頼がなされた。

- ・事務局より、12月度の委員会で作成中とされた本学インターンシッププログラムの紹介用パンフレットが完成し、1月末～2月頭にかけて内定の礼状を送付した企業に配布したとの報告がなされた。また、1月28日(金)にインターンシッププログラムの提携企業に対し、インターンシップセミナーを実施し、17の企業が参加した。参加企業からは「松本大学インターンシッププログラムの趣旨・目的が理解できた」「企業の目的は採用にあるため、企業のメリットをより打ち出していきたい」などの意見が寄せられた。

2) 事業活動

- ①年度内の松本大学インターンシップ派遣学生数21名(新型コロナウイルス感染症の影響により大半の学生が派遣中止となった)
- ②上記①のうち単位認定を実施した学生数19名(単位認定しなかった2名は事後研修への不参加ならびに健康チェックの不備が理由)

B：学生支援

(1) 全学就職委員会

1) 委員会開催

①4月26日(月)

- ・昨年度の就職内定率は大学98.8%、短大98.9%であり、この結果について承認がなされた。
- ・就職支援に関する年間予定表および授業・ガイダンス計画表に基づき説明がなされ、承認、確認がなされた。
- ・合同企業説明会の参加状況について報告されるとともに、5/29(土)に予定している説明会は、コロナ禍の影響および参加状況を踏まえて、WEB個別会社説明会方式へ変更することが承認された。また、6/19(土)は開催見送りとすることを決定した。
- ・基礎教育センターと連携したSPI対策の取り組みについて、コロナ禍の影響もありSPIを活用する企業も多くあるため、今年度も改めて基礎教育センターに依頼することとした。
- ・本年度新入生に対する面談について、以下のように検討することとした。
 - i) 基礎ゼミ担当者により実施された新入生との面談記録の活用方法等については、学部学科において検討する。
 - ii) 就職支援ガイダンスの必修科目の扱いについては、様々な視点から学部学科で議論する。

②6月1日(火)

- ・教務委員会との調整が必要な事項につき各学部より以下2点について報告および審議がなされた。
 - i) 基礎ゼミにおける新入生面談記録の扱いについては、審議の結果、すでに学部ごとに運用されており、改めて全学就職委員会として統一の取り扱いはしないこととし、この結果を教務委員長へ報告することとした。
 - ii) 単位付与されない就職支援ガイダンスの扱いについては、全ての学部で現状どおり教務システムでの管理を希望することとした。
- ・今年度の保護者説明会実施方法について審議がなされ、全学就職委員会として対面による全学的な実施はしないこととした。なお、今後は対面に代わる方法を検討し、学部独自に対面が必要な場合は個別に検討する。
- ・改めて重要な以下3点について、就職委員会として各学部学科教員に周知することとした。
 - i) 内定を獲得したら速やかにキャリアセンターに届けることを徹底する。
 - ii) 内定辞退に対する大学の方針を踏まえて慎重に進路を決定するよう周知徹底する。なお、内定承諾書提出期限が早期化していることも踏まえ、安易に提出せず熟考のうえ、他社の結果を待ちたい場合

は企業側に期限の延長を願い出る。

iii)卒業要件をよく確認し、履修・修学に細心の注意を払う。

- ・昨年度実施できなかった基礎教育センターと連携したSPI対策の取り組みについて、後期に向けて希望者に実施できるよう、基礎教育センターにおける検討を前期中に行っていただくよう依頼することとした。

③6月29日(火)

- ・前回の審議事項であった教務委員会との調整事項について、教務委員長との情報交換の結果が説明された。内容は以下のとおりである。

i)基礎ゼミにおける新入生面談記録の扱いについては、学部ごとの対応とする。

ii)単位付与されない就職支援ガイダンスの扱いについては、学生から「就職支援ガイダンス」の時間帯に、他の授業科目を履修したいという申し出があった場合、「就職支援ガイダンス」の必修扱いを外して、他の授業科目を履修できるように変更対応する。なお、この点については、「履修の手引き」等の説明資料に明記することとする。また、このようなケースが出てきた場合、各学部学科で「対象学生の個別フォロー」を行う。

- ・保護者説明会の開催方法について、各学部より以下のとおり報告がなされた。

総合経営学部：説明会は実施せず、大学全体資料と学部資料を郵送対応する。

人間健康学部：説明会は実施せず、大学全体資料と学部資料を郵送対応する。

教育学部：大学全体資料と学部資料を郵送対応する。オンライン説明会も検討する。

短期大学部：大学全体資料と学部資料を郵送対応する。オンデマンド配信も検討する。

この報告を受け、大学全体としてはオンライン開催も実施せず、昨年同様に大学全体の資料を作成することとした。

- ・前回の審議事項であった新たなSPI対策実施検討について、就職委員会が講座自体を企画し、講師依頼を検討することとした。まずは全学運営会議に諮り、学内のリソースを活用した実施の方法を検討していく。

④8月31日(火)

- ・WEB業界セミナーについて、前期の実施報告と後期日程の計画案が示された。インターンシップの早期化に備え、今回より、学部2年生も対象に加えることが承認された。

- ・全学協議会での決定を受け、全学的なSPI対策の実施案を就職委員会で検討することとなった。

- ・合同企業説明会の実施案について説明がなされた。企業選定に関しては、キャリアセンターに一任することが承認された。実施日は、2/21(月)、22(火)、24(木)、25(金)、28(月)、3/15(火)の6日間を予定し、参加企業は、午前10社・午後10社、計120社程度を想定する。実施方法は、ZOOMによるWEB方式・事前予約制とする。

- ・2022年度入学生のキャリア面談は、昨年が新型コロナウイルス感染症で中止となったこともあり、現時点では実施しない予定であるが、改めて就職委員から意見を求めることとした。

⑤10月5日(火)

- ・未内定の学生に対する就職支援のため、就職委員会として、学部・学科全体に対して、学生への就職支援を強く依頼していくことを承認した。学部・学科ごとに強化方法を検討の上、早速に実施いただくこととした。

- ・9月29日のSD研修会の中で報告された「進路先アンケート」結果について、就職委員会およびキャリアセンターでも内容を再度確認することとした。

- ・2022年度入学生に対する新入生のキャリア面談については、昨年同様に実施を見送り、基礎ゼミを通して実施していく案が提案された。ただし、基礎ゼミで実施していくには、教務委員会との調整が必要になることから、継続審議とした。

⑥11月2日(火)

- ・2022年度就職委員会の年間予定案について、審議がなされた。なお、最終的に年明けに年間予定表を完成していくことが確認された。

- ・前月に引き続き、新入生のキャリア面談の実施について審議がなされ、2022年度入学生に対する新入生のキャリア面談については、入学前の3月に実施しないということで承認がなされた。ただし、入学後の実施については、引き続き検討していくこととした。

⑦11月30日(火)

- ・2022年度就職委員会の年間予定案について、継続審議がなされた。最終的には、年明けの委員会で年間予定表を完成する予定である。
- ・2022年度入学生に対する新入生のキャリア面談について、入学後の実施方法について審議がなされた。本年度同様基礎ゼミへ依頼して実施していくという方向で検討を進め、最終的には年明けの委員会で正式な方向性を決定していくことが確認された。

⑧1月6日(木)

- ・2022年度年間計画について継続審議がなされた。新入生のキャリア面談については、入学前教育や入学後のキャリア教育ビジョンをもう一度整理したうえで、どのような形で進めていくのが望ましいのか検討し直すこととなった。
- ・インターンシップ推進委員会においても、インターンシップを就職活動の準備ではなく、2年生のうちから実施していくことで教育的な学びにしていこう検討していることを踏まえ、就職委員会でも1・2年生に対するキャリア教育について検討を行うこととした。

⑨1月31日(月)

- ・2022年度年間計画について引き続き審議がなされた。
- ・今後の就職支援のあり方について、別紙資料を基に以下の項目につき審議がなされた。
 - i) 「PROG」から「GPS」テストへの変更が、審議の結果承認された。
 - ii) 2年前期からのガイダンスにつき、単位化するのか、ガイダンスで実施していくのか、今後教務委員会や教務課とも調整しながら検討していくことが確認された。
 - iii) 4年生の就職支援に関する授業やガイダンスは、未内定者への支援など有益な部分もあることから、今後学部からの意見を参考に、実施について検討していくこととした。
- ・2月に、内定先企業に内定礼状を発送するのに合わせ、内定者に関するアンケートを実施していくことが承認された。
- ・今後のSPI対策について審議がなされた。学内では、授業や公務員試験対策講座でもSPI対策を行っているものの、全学的なSPI対策に関しては、次年度も引き続きキャリアセンターで実施していくことが望ましいという意見が出され、審議の結果異議なく承認された。
- ・3月末に実施する在学生向けのオリエンテーションについては、これまで新3年生を対象に実施してきたが、就職支援の早期化を踏まえ、新2年生にも実施することが、審議の結果承認された。

⑩3月2日(水)

- ・面接指導と履歴書添削につき、キャリア面談で実績のある面談員に、面接指導と履歴書添削の一部を業務委託することが提案され、審議の結果承認された。
- ・在学生についても、2022年度より「GPS」テストへ変更する案が提案され、審議の結果承認された。

2) 事業活動

①年度内の求人受理事業所数

17,893件

②学内合同企業説明会の開催

オンライン 2022年2月21日、22日、24日、25日、28日、3月15日(オンライン開催)

③保護者就職説明会の開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため資料を郵送した。

④キャリア面談の実施

学部2年生対象：2022年3月、学部3年生・短大1年生対象：2022年2月

⑤インターンシップ参加支援

松本大学インターンシップ事業／参加人数21名、協力事業所数6

信州産学官インターンシップ／参加人数4名

⑥学内企業単独説明の開催

計43回

⑦学生向け各種支援講座の開催

夏季就職対策講座、業界研究セミナー、SPI対策講座

3) 各学部の部会開催

総合経営学部：5/11(火)、6/16(水)、11/1(月)

教育学部：6/8(火)、10/19(火)

松商短期大学部：4/26(月)、5/10(月)、6/8(火)、7/12(月)、9/8(水)、10/5(火)、11/8(月)、12/9(木)、1/17(月)、3/29(火)

(2) 全学学生委員会

1) 委員会開催

・第1回 4月23日(金)

委員会構成メンバーの確認、新型コロナウイルス感染症の対応等について、年間行事予定について、学外指導者(クラブサポーター)の申請について、強化部指定継続について、学友会・梓乃森祭サイトリニューアルについて、部・同好会の新設について、コロナ対策として昼食時の教室の追加開放について、学生メール活用徹底の推進について審議。

日本学生支援機構奨学金説明会の実施について、学生証添付の駐車場シール廃止について報告。

・第2回 5月28日(金)

学外指導者内規の改正について、学外指導者の追加申請について、強化部・重点部への申請および取消について、卓球部による無断大会出場および今後について、部活動の公式戦参加許可について審議。認証評価について、学友会活動状況について、施設利用満足度アンケートについて報告。

・第3回 7月2日(金)

課外活動(クラブ・サークル)の各種規定に関して、体育施設の利用方法について、学友会に対する学長の意向および、学生の要望等について、学生の学内外での行動について、大学祭の実施方法について審議。

第25期「経済状況悪化に伴う就学困難な学生への支援制度」について、事故(第1学生駐車場における車両3台の物損事故、通学中の保護者運転下の追突事故)について、事件(2号館1F女子トイレにおける盗撮被害)について報告。

・第4回 10月5日(火)

学生保険について、第12回学長賞について、レッスンルーム貸出しについて、卓球部活動禁止処分の解除について、規程整備にともなう課外活動団体の呼称(表記)について、学外指導者内規の改正について審議。

長野県事業新型コロナ対策学生向け緊急食料配布協力について、障がい学生支援会議の設置について、盗撮事件の対応について、松本市選挙管理委員会期日前投票所(バス)の設置について、「学生大会」の実施について、学生用ロッカーの貸し出しについて、薬物防止講習の実施について報告。

・10月13日(水) [メール審議]

学生駐車場のゲートバーの破損について、破損理由が不可抗力や利用者の責に帰さない場合を除き、破損者本人に費用を請求するとした。

・12月～3月 [コロナ対応として不定期に必要なに応じたオンライン会議、メール審議とした]

学生証の回収について(卒業式後の回収取りやめ)、クラブ・サークル活動における Teams の利用につ

いて、同好会「MRSC(松本レクリエーションスポーツコミュニティ)」結成申請について、第26期「経済状況悪化に伴う就学困難な学生への支援制度」について、強化部・重点部内規の改正について、学内貸し出しロッカーの運用変更について審議。

盗撮事件(犯人特定)について、緊急給付金について(国からの10万円給付)報告。

2) 新型コロナウイルス感染予防

- 4月9日 活動制限指針レベル3への引き上げに伴うクラブ・サークル活動の再制限を通知。
- 4月12日 全職員・学生に「2021年度前期 昼食を含む飲食時の対応について」の案内資料を配信し、併せて新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から食事場所として学生に開放する施設の見守りと消毒による管理を、職員当番と学生バイトにより実施することとした。
- 4月14日 新型コロナウイルス感染拡大防止対策が、学生の行動で一部徹底されていない状況が見られたため、再確認の案内を通知。
- 4月21日 コモンルーム(7号館・9号館)に長時間滞在する学生が多く、さらに学内の動線として多くが利用するため、非常に混雑していることから、滞在時間短縮と食事機会確保を目的として、昼食時間の使用制限について通知。
- 4月23日 活動制限指針レベル4への引き上げに伴い、強化部・重点部以外のクラブ・サークル活動の原則全面禁止を通知。
- 5月10日 「昼食を含む飲食時の対応」について、学生入構禁止中であることから昼食場所を絞り、5月末日を目処に管理担当学生を解散し、アルコール除菌シートの設置と掲示案内のみとし、学生個々の自衛行動を促すことを通知。
- 6月1日 「コロナ禍の中で大学生活を送る皆さんへ(応援メッセージ)」を発信。
- 6月7日 短大の昼食用教室として232教室を追加開放。
- 6月10日 活動制限指針レベル3への引き下げに伴い、クラブ・サークル活動の再開、および昼食時の対応について通知。特に昼食時についてはセルフ消毒となることから、前回よりも強い表現とした。
- 6月30日 活動制限指針レベル2への引き下げに伴い、クラブ・サークル活動の制限緩和を通知。
- 7月22日 クラブ活動時間延長と食事場所拡大を通知。
- 8月4日 活動制限指針レベル3への引き上げに伴い、クラブ・サークル活動の制限強化を通知。
- 8月6日 活動制限指針レベル4への引き上げに伴い、強化部・重点部以外のクラブ・サークル活動の原則全面禁止を通知。
- 8月13日 活動制限指針レベル5への引き上げに伴い、強化部・重点部以外のクラブ・サークル活動の原則全面中止、強化部・重点部の活動制限を通知。
- 8月31日 「部活動指導の再確認と徹底」について通知。
- 9月9日 強化部・重点部の規定外の活動によるクラスターの発生があったことから、強化部・重点部においても原則活動停止を通知。
- 9月27日 一部を除き、強化部、重点部の条件付きの活動再開を通知。
- 10月8日 活動制限指針レベル2への引き下げに伴い、10月12日からのクラブ・サークル活動の再開を通知。
- 1月12日 「昼食を含む喫食、部活動、その他の対応について」通知。
- 1月13日 活動制限指針レベル4への引き上げに伴い、強化部、重点部以外のクラブ・サークル活動の原則全面禁止を通知。
- 1月15日 活動制限指針レベル5への引き上げに伴い、強化部、重点部以外のクラブ・サークル活動の原則全面禁止、強化部、重点部の活動制限を通知。
- 1月19日 強化部、重点部の活動中によるクラスターの発生があったことから、強化部、重点部においても全面的に活動停止を通知。
- 2月2日 「新型コロナウイルス感染症に関する一人暮らし学生への食料等支援について」を通知。

2月23日 強化部、重点部活動を再開。

3) 学生支援（奨学金、授業料免除等経済的支援を含む）

- 7月5日 「第25期経済状況悪化等に伴う就学困難な学生への支援制度」の申し込み案内開始。
- 9月1日 「第25期経済状況悪化等に伴う就学困難な学生への支援制度」オンライン面談の実施。
- 9月7日 「第25期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度」申請者に面談結果を通知。
- 1月5日 文部科学省「学生等の学びを継続するための緊急給付金」について学生への案内開始。
- 1月6日 「第26期経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度」の申し込み案内開始。
- 1月7日 強化部・重点部ミーティングを開催し、運営管理面での課題および要望等をまとめた。
- 2月18日 「第26期経済状況悪化等に伴う就学困難な学生への支援制度」のオンライン面談の実施。

4) 学友会・クラブ活動（新型コロナウイルス感染防止対応を含む）

- 4月15日 学友会の学生活動計画を立てるにあたって「コロナ禍における学生活動計画について」の資料を配布し、今年度の学生活動の指針を示した。
- 7月21日 学長より強化部・重点部継続指定通知書を交付していただいた。
- 8月23日 学友会主催「第1回松本大学フォトコンテスト」開催を決定し通知した。
- 9月7日 大学祭の延期について決定・通知。
- 10月18日 アルバイト情報について学生と求人側の利便性および管理性の向上、ならびにWITHコロナの学生生活支援として掲示板への掲示を廃止し、WEB運用システムを構築した。
- 11月9日 学生・企業(共同経営)に係る学生からの労働相談・ハラスメント等の相談。
- 12月19日 「梓乃森祭2021」をについて、①オンラインでのリアルタイム配信・閲覧、②希望者による対面(事前申込制／先着順の人数制限)の2通りの方法で実施。
- 2月14日 強化部・重点部連絡会議を開催。
旅費内規の見直しについて、特待生制度について、規程遵守の徹底について、出張申請の徹底について、寮監について審議。
硬式野球部より遠征がこれまで以上に増えたことによる経済的な課題が生じている、女子ソフトボール部より継続的な活動を視野に、公式試合ができる程度のグラウンドが必要である、ことが報告された。
- 3月9日 一般学生への体育館利用促進のため、各体育館入口扉の物理鍵は施錠しない。
- 3月18日 ソフトボール部コーチ面接の結果、採用を決定。
- 3月28日 2022年度クラブ部長委嘱。